

アーツ前橋 年報No.07 2019年度（令和元年度）

2019年度の主な出来事

4月19日 「身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から」 開催（～7月9日）

4月19日 「やなぎみわ展 神話機械」 開催（～6月23日）

7月19日 「Art Meets 07 門馬美喜／やんツアー」 開催（～9月16日）

「山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室」 開催（～9月16日）

10月12日 「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」 開催（～2020年1月13日）

2月 8日 「前橋の美術2020 ー トナリのビジュツアー」 開催（～3月3日）

3月 5日 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により臨時休館（～5月31日）

目 次

2019年度の主な出来事	2
I 展覧会	5
身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から	6
やなぎみわ展 神話機械	7
Art Meets 06 門馬美喜 やんツー	9
山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室	11
表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	13
前橋の美術2020 ートナリのビジュッー	16
II 地域アートプロジェクト	19
滞在制作事業 概要	20
キム・ジェミニ	21
増田拓史	22
カシャ・フダコウスキ	23
三枝愛	24
飯沢康輔	25
アーツであさごはん	26
多文化共生プロジェクト	27
III ラーニング	29
アーティスト・イン・スクール 全体概要	30
住中浩史×前橋市立第六中学校	31
尾花藍子×前橋市立勝山小学校	32
中島佑太×前橋市立桃川小学校	33
表現の森 全体概要	34
石坂亥士・山賀ざくろ×清水の会えいめい／小規模多機能の家じゃんけんぽん	35
滝沢達史×アリスの広場	36
中島佑太×南橋団地	37
廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家	38
Port B×あかつきの村	39

表現の森 実施事業一覧	40
アーツナビゲーター研修	41
おしゃべりアートデイズ	42
あーつひろば	43
サポーター活動記録	44
メンバーシップ	45
視察・見学	46
インターンシップ	46
先生のための無料招待ウィーク	46
博物館実習	46
IV 連携事業等	47
ロビーライブ	48
身体の人たち「New-Tone～ニュートン」	49
うまやの 駅家ノ木馬祭	51
前橋まちなかアーツ助成	52
V 所蔵資料	55
収蔵作品	56
購入・寄贈作品	57
修復	58
貸出実績	58
収蔵図書	58
VI 運営／各事業に関する資料	59
条例	60
運営評議会	62
収蔵品専門委員会	64
来館者統計	66
刊行物	67
職員名簿	67
展覧会出品リスト	69
関連記事	79

【凡例】・《 》は、作品名を示す。〈 〉は、シリーズおよびプロジェクト名を示す。・肩書き、役職などは事業実施時点のものである。
・年号の表記は西暦で統一した。ただし、「VI運営」のは和暦で統一した。

I

展覧会

身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から

私たちの身体は「いま」という時間を生きていながらも、過去の記憶の集合体として存在している。石内都の〈ひろしま〉シリーズは、広島平和記念資料館に現在まで届けられる被爆者の遺品をモチーフに、被爆した人が身につけていたであろうワンピースや靴を通じて、戦争を生きた人々の生を感じさせる。また、小野田賢三は前橋ゆかりの音楽家・井上武士の代表作『うみ』を題材に、新しい鑑賞体験を提案。誰しもが子どもの頃に耳にし、口ずさんだ童謡は、私たちの身体の一部となって記憶されているのではないだろうか。

平成30年度は、9作家32作品を新たに収蔵し、本展では、「身体と記憶」という切り口から、これまでのさまざまな収蔵作品を紹介した。

- 【会 期】 2019年4月19日(金)～7月9日(火)
- 【日 数】 71日間
- 【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)
- 【休館日】 水曜日
- 【会 場】 アーツ前橋 ギャラリー1
- 【観覧料】 無料
- 【運 営】 [主催]アーツ前橋
- 【出品点数】 20点
- 【入場者数】 4,981名
- 【関連事業】 学芸員によるギャラリーツアー
 [日時]6月15日(土)14時から14時30分
 [会場]アーツ前橋 ギャラリー1
 [参加人数]6名
- 【担当学芸員】 今井朋



やなぎみわ展 神話機械

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも活躍している美術家やなぎみわ(1967～)の約10年ぶりの大規模個展。美術館連絡協議会の巡回展として開催した。代表的な写真シリーズに、日本神話をモチーフに桃を撮影した新作シリーズを加え、さらには巡回展の開催館と大学等とが連携して制作した、マシン演劇も展示会場に生み出された。アーツ前橋では、前橋出身の詩人・萩原朔太郎の短編小説から着想を得た映像作品も紹介した。美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していく。本展覧会ではやなぎの汲み尽くせぬ創造の泉に迫った。

【会 期】 2019年4月19日(金)～6月23日(日)

【日 数】 57日間

【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】 水曜日 ※5月1日(水・祝)は開館、5月7日(火)を閉館

【会 場】 アーツ前橋 地下ギャラリー

【観覧料】 一般600円／学生・65歳以上・団体(10名以上)400円／高校生以下無料

※障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は観覧無料

※5月12日は「母の日」のため観覧無料

※『MM』セット割：パフォーマンスチケットと同時購入された方は観覧料400円

【運 営】 [主催]アーツ前橋、読売新聞社、美術館連絡協議会

[協賛]ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、JAふくしま未来、JAグループ福島

[協力]京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学ROBOCON挑戦プロジェクト、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、一色事務所、堀内カラー

[後援]上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

[企画協力]一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE

【出品点数】 50点

【入場者数】 3,605名

【印刷物】 ポスター B2判 850部

チラシ A4判 50,000部

図録 日本語/英語 A4判変形 128頁 470部

報告書 日本語 A4判 16頁 400部

【関連事業】 ライブパフォーマンス『MM』

1台のメインマシンと3台のサブマシンと、俳優が競演する公演。シェイクスピアの『ハムレット』や、ハイナー・ミュラーによる『ハムレットマシン』等が織り込まれた作品。5月17日の公演終了後にアフタートークを開催した。

[日時]5月17日(金)、18日(土)19時30分から21時まで

[構成・演出]やなぎみわ

[出演]高山のえみ

[音楽]内橋和久

[アフタートーク登壇]やなぎみわ、平社信人(群馬工業高等専門学校機械工学科准教授)、萩原朔美(前橋文学館館長)

[そのほか]本プロジェクトは、JSPS科研費 JP17H00910に関連する作品。



[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]210名

やなぎみわ講演会

初期の代表作から近年の演劇プロジェクト、さらに新作《神話機械》について紹介。主要なモチーフである案内嬢が、演劇作品のなかでも物語を進行するストーリーテラーとして重要な役割を演じていることが話され、美術作品と演劇制作のつながりについて話した。

[日時]5月19日(日)14時から15時30分

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]49名

ロボット教室

高専生が講師となり、参加した小学生たちは、高専ロボコン全国大会に出場したロボットと走行ロボットの操縦を体験した。

[講師]群馬工業高等専門学校ロボット研究会

[日時]5月11日(土)14時から16時30分まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]47名

学芸員によるギャラリートーク

[日時]5月12日(日)、6月1日(土)14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]24名

おしゃべりアートデイズ

[日時]6月3日(月)～6月9日(日)月火木金は14時から14時30分まで、土日は11時15分から11時45分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]44名

【担当学芸員】 辻瑞生



Art Meets06 門馬美喜 | やんツー

「Art Meets」は、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れることを目的に、中堅アーティストの活動を紹介する企画展として、年1回開催している。第6回目は、生まれ育った地域の歴史と深くかかわる馬、さらに東日本大震災後に東京と相馬を行き来する途中で眼にする変わりゆく風景を描き続けている門馬美喜（1981年生まれ）と、ドローイング制作や作品鑑賞といった人間の行為を技術によって代替する作品を制作しているやんツー（1984年生まれ）の二人の作品を紹介した。門馬、やんツー共に旧作と新作を交えて展示した。

【会期】2019年7月19日(金)～9月16日(月・祝)

【日数】52日間

【開館時間】10時から18時まで（入場は17時30分まで）

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 ギャラリー3, 4, 5, 6

【観覧料】一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料

※「山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室」展と共通チケット

※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

※児童扶養手当証書をお持ちの方は無料

※「わくわく子どもまつり」の8月10日(土)および「国際識字デー」の9月8日(日)は無料

※猛暑割：最高気温35度以上の日にご来場された方は観覧料300円

【運営】[主催]アーツ前橋

[協力]ターナー色彩株式会社、株式会社HAUS

【出品点数】26点

【入場者数】2,415名

【印刷物】チラシ A4判 80,000部

リーフレット A5判中綴じ 3,000部

【関連事業】ワークショップ「Googleが教えてくれないこと ―インターネットの裏路地を歩く」

一般的な検索エンジンではヒットしないウェブページなど、インターネットの裏路地といわれるダークウェブを、参加者各々がスマートフォンやタブレットを使用し探訪した。「検索する」行為から浮かび上がる現代社会について考えるワークショップ。

[講師]やんツー

[日時]7月21日(日)14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]10名

ワークショップ「建築廃材で小さな理想のまちを作ろう ―木製ブックスタンド製作」

ブックスタンドの側面部分に、建築の廃材となった木材を使い、小さなまちの風景を自由に制作するワークショップ。表面の仕上げには蜜蝋ワックスや柿渋を用いた。

[講師]門馬美喜

[日時]8月3日(土)14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]15名



学芸員によるギャラリーツアー

[日時]8月4日(日)、8月24日(土)各回14時30分から15時まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]55名

【担当学芸員】住友文彦、吉田絵美



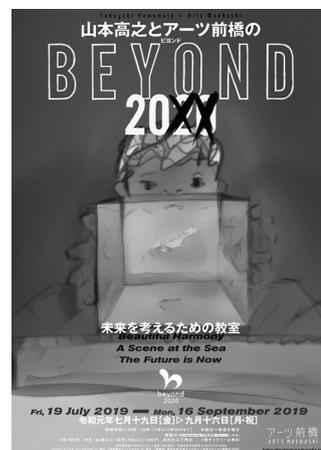
山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室

アーティストの山本高之とアーツ前橋の学芸員が〈美術〉を通じた学びとは何かを議論し、これからの〈美術／美術館〉の役割について展覧会を通して考察した。学芸員はアーツ前橋の事業を「コレクション」「地域アートプロジェクト」「市民との協働」という視点から振り返り、今まで経験したことのないサーフィンに挑戦した様子の映像も展示した。

一方、山本は「教育にはその時代、その地域の大人たちが思い描く未来像が反映されている」というステートメントをSF映画になぞらえ、教育と未来の関係性を示す新作《ビヨンド2020 道德と芸術》を前橋市民と制作した。

関連イベントでは山本がアーティストの視点から「ラーニング（相互的な学び）」の新たな可能性を提案し、音のなるおもちゃの電子回路を改造し、新たな音を引き出し独自の楽器を創作する「サーキットベンディング」や、図工と道德教育の専門家を招いたトークイベントなど、複数のプログラムを開催した。

- 【会 期】 2019年7月19日(金)～2019年9月16日(月・祝)
- 【日 数】 52日間
- 【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)
- 【休館日】 水曜日
- 【会場】 アーツ前橋 ギャラリー1, プロムナード, ギャラリー2
- 【観覧料】 一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料
※「Art Meets 06 門馬美喜 | やんツー」展と共通チケット
※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料
※児童扶養手当証書をお持ちの方は無料
※「わくわく子どもまつり」の8月10日(土)および「国際識字デー」の9月8日(日)は無料
※猛暑割：最高気温35度以上の日にご来場された方は観覧料300円
- 【運営】 [主催]アーツ前橋
[協力]群馬大学教育学部美術教育講座、株式会社すいらん、学校法人清心学園清心幼稚園、前橋シネマハウス
- 【出品点数】 34点
- 【入場者数】 3,531名
- 【印刷物】 チラシ A4判 80,000部
ポスター B2判 1,300部



【関連事業】 近未来SF映画のワンシーンをつくろう

山本作品を舞台セットに見立て《ビヨンド2020 道德と芸術》のワンシーンを撮影するワークショップ。ベルトコンベアを使い参加者が協働し1時間で100枚の絵を描いた。会期前には同ワークショップを小学生対象に実施したが、この日は子どもから大人まで年齢を定めずに行った。

[日時]7月27日(土)11時から12時まで／15時から16時まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]25名

山本高之と行く群馬の森

山本と一緒に群馬の森を散策し、「朝鮮人強制連行犠牲者追悼碑(「記憶 反省 そして友好」の追悼碑)」の実物を目の前にして紙粘土を使って造形物を作った。専門家による解説を取り入れるのではなく、アーティスト自らが新たな学びの場に立ち会い、参加者と共にその場を訪れることで学ぶことの意味を考えるワークショップを実施した。

[日時]7月28日(日)13時から15時まで

[会場]群馬の森

[参加人数]19名

サーキットベンディングの世界 [講義編]

音の出るおもちゃなどに組み込まれている電子回路を改造し、別の楽器に変えてしまう「サーキットベンディング」を、最先端の学びのあり方として関連イベントで2度にわたり取り上げ

た。「講義編」では、正解のない自由なひらめきを通じて世界にたったひとつの楽器を生み出すサーキットベンディングについて、日本において黎明期から活動を続けるサーキットベンダーのKaseo氏を招き、参加型のレクチャーとライブパフォーマンスを開催した。

[日時]8月2日(金)18時から20時まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]20名

山本高之とアーツ前橋学芸員によるギャラリーツアー

山本とアーツ前橋学芸員がそれぞれの考えを展示に反映したことについて解説するギャラリーツアーを行った。

[日時]8月4日(日)、8月24日(土)14時から14時30分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]55名

トーク「図工と道徳」

「多角的なものの見方を特徴とする〈図工・美術〉とひとつの規範を教えようとする〈道徳〉がともに行われている教育現場に矛盾はないのか？」という山本からの問いかけによってテーマが設定された。登壇者には教育の専門家を招き、図工・美術と道徳の教科における共通点や相違点について論点が提示された。

[登壇者]東良雅人(文部科学省初等中等教育局視学官)、郡司明子(群馬大学教育学部准教授)、前島隆宏(群馬県教育委員会義務教育課教科指導係指導主事)、岡田泰孝(お茶の水女子大学付属小学校教諭)、久保信行(群馬大学教育学部附属学校教育臨床総合センター客員教授)

[日時]8月25日(日)14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]53名

おしゃべりアートデイズ

[日時]9月2日(月)から8日(日) ※月火木金は14時から14時30分まで、土日は11時15分から11時45分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]34名

サーキットベンディングの世界 [実践編]

スリーピースバンド「世紀マ3」のシンセサイザー奏者でもある谷浦朋文を講師に迎え、電子チャイムを使ったサーキットベンディングに挑戦する [実践編] ワークショップを実施した。ワークショップの終盤には、谷浦氏が改造したゲームボーイ150台を使ったライブパフォーマンスが行われた。

[日時]9月15日(日)11時から18時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]28名

【担当学芸員】沼下桂子、今井朋



表現の生態系 世界との関係をつくりかえる

アーツ前橋では、福祉、教育、医療などの分野と協働して行う「表現の森」プロジェクトを2016年に開始し、現代社会において分断されている生の全体性を「表現」を通じてつなぎ直すような試みを行っている。

本展では、現代だけでなく歴史や異なる地域を横断しながら、世界との関係をつくりかえていく実践こそ現代の芸術に託された重要な役割なのではないかという期待を込め、31組のアーティストの作品やプロジェクトを紹介した。

また、本展の企画には文化人類学者の石倉敏明(秋田公立美術大学准教授)、アーティストの白川昌生、社会学者の山田創平(京都精華大学准教授)を招き、共にコンセプトを練ることで多角的な視点から美術の在り方を考えた。

【会期】2019年10月12日(土)～2020年1月13日(月・祝)

【日数】75日間

【開館時間】10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】水曜日、年末年始12月28日(土)～1月4日(土)

【会場】アーツ前橋 ギャラリー

【観覧料】一般600円／学生・65歳以上・団体(10名以上)400円／高校生以下無料

*2019年10月22日(火)即位礼正殿の儀、28日(月)群馬県民の日、12月10日(火)世界人権デー、2020年1月9日(木)前橋初市まつりは無料。

*また、以下に該当する方は無料

- 1) 障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名
- 2) 雇用保険受給資格者証をお持ちで求職中の方
- 3) 児童扶養手当証書をお持ちの方
- 4) 要介護(支援)認定有効期限内の介護保険被保険者証をお持ちの方
- 5) 難民認定証明書をお持ちの方
- 6) 生活保護受給票をお持ちの方
- 7) 教員
- 8) 福祉施設に勤務されている方
- 9) 美術・医療・福祉・教育を専門に学ぶ学生

【運営】[主催]アーツ前橋

[協力]アートによる対話を考える実行委員会、京都精華大学

[後援]上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

【出品点数】103点

【入場者数】5,398名

【印刷物】チラシ A4版 80,000部

ポスター B2判 2,000部

セルフガイド A3判二つ折り 5,000部

コンセプトブック 日本語／英語 A4変形 224頁 1,600部

【関連事業】トーク「表現の生態系とは何か？」

本展のコンセプトメイキングのために集まった企画委員によるこれまでの意見交換や地域リサーチ、新作制作に関する舞台裏についてのトークを開催する予定だったが、台風のため開催中止となった。

[日時]10月12日(土)14時から16時まで

[登壇者]石倉敏明、白川昌生、山田創平、住友文彦、今井朋

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]中止のためなし



トーク「前橋聖務日課」

1979年にエマウス運動として始まった「あかつきの村」とPort Bが協働して制作した《前橋聖務日課》(2016年)や本展で発表された新作《あかつきの村ウォーク》を通して共同体のあり方を考えた。

[日時]10月22日(火・祝)14時から15時30分まで

「登壇者」石倉敏明、猪股剛(臨床心理士)、高山明(Port B)、田中沙季(Port B)、福西敏宏(プロジェクトコーディネーター)

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]49名

上映+トーク「神々との饗宴」

川瀬慈作品《精霊の馬／When Spirits Ride Their Horses》(日本語字幕版、28分)の上映と本展で展示された《春駒》《ラリベロッチ》の作品から、儀式や霊媒についてのトークを展開した。また、本イベントは白川昌生が発起人でもある前橋映像祭の10周年記念上映会のプログラムとして開催した。

[日時]11月2日(土)14時から16時30分まで

[登壇者]川瀬慈(国立民族学博物館准教授)、白川昌生、住友文彦

[会場]前橋シネマハウス

[協力]前橋映像祭2019

[参加人数]56名

ワークショップ「六感の森」鑑賞会

鴻池朋子によって提案された「観客は作品をどのように観て感じているのか、観客に作家が何う」という鑑賞会。視覚に障害のある方4名、晴眼者4名がお互いの意見を交換しながら、鴻池朋子の作品を視覚や触覚などさまざまな感覚を通じて味わう会を開催した。

[日時]11月10日(日)14時から16時まで

[参加作家]鴻池朋子(本展参加作家、アーティスト)、三輪途道(本展参加作家、アーティスト)

[協力]多胡宏(元群馬県立盲学校長)

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]22名

トーク「アートとフクシ」 ※「表現の森継続事業」との連携シンポジウム

アクティビスト／元セックスワーカーとしても活動するブブ・ド・ラ・マドレーヌ、「表現の森」の1プログラムとしてひきこもりや不登校の経験のある若者たちと活動を行う滝沢達史と「アートと福祉」の関係を考えて。本トークの記録は以下のサイトに掲載されている。

表現の森特設サイト：<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/voice/20191124artandwelfare/>

[日時]11月24日(日)14時から15時30分まで

[登壇者]滝沢達史(本展参加作家、アーティスト)、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(本展参加作家、アーティスト)

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]59名

トーク「アートを通して考える「マイノリティ」と「市民運動」」 ※表現の森との連携シンポジウム

群馬におけるマイノリティの現状や、人権状況、いま求められる施策や対応について語り、現状に対してアートをはじめとした「表現」が持ちうる力について考えた。本トークの記録は以下のサイトに掲載されている。

表現の森特設サイト

【トーク前編】<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/voice/20191211minorityandsocialmovement1/>

【トーク後編】<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/voice/20191211minorityandsocialmovement2/>

[日時]12月1日(日)14時から16時まで

[登壇者]あかたちかこ(大阪市立阿武山学園／児童自立支援施設講師)、間々田久渚(ハレルワ代表)、山田創平、吉野晶(弁護士)、今井朋

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]61名

トーク「アウト・オブ・民藝 - 民藝運動のはぐれもの | 群馬篇」

『アウト・オブ・民藝』(誠光社、2019年)の著者によるブルーノ・タウト、達磨、郷土玩具など群馬の工芸を巡るなかよしトークを開催した。

[日時]1月12日(日)14時から15時30分まで

[登壇者]軸原ヨウスケ(デザイナー)、中村裕太(本展参加作家、アーティスト)

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]56名

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]11月16日(土)、12月14日(土)14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]21名

おしゃべりアートデイズ

[日時]12月2日(月)～8日(日)14時から14時30分まで(土日は11時15分から11時45分まで)

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]33名

【担当学芸員】今井朋、吉田絵美



前橋の美術2020 —トナリのビジュツ—

前橋ゆかりのアーティスト47名による展覧会。前橋に住む様々なジャンルのアーティスト、ギャラリスト、学芸員による「前橋の美術実行委員会」が主催となって開催された。アーツ前橋の展示に加え、街なか数カ所でも展示を行った。また、学校や福祉施設等への支援活動「アートゆい」を会期前から実施。さらに、市内11カ所のギャラリーと1カ所の私設美術館が同時期に協力企画展を開催し、アーツ前橋を核とした前橋のアートシーンの活性化を図った。サブタイトルの「トナリのビジュツ」には、アートを通じた「人と人とのつながり」によって、お互いを思いやり、認め合い、協力し合える地域社会をつくりたいという願いが込められている。

【会 期】 2020年2月8日(土)～3月15日(日)※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月3日に閉幕

【日 数】 23日間(当初予定：32日間)

【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】 水曜日

【会 場】 アーツ前橋、前橋中心市街地各所

【観 覧 料】 無料

【運 営】 [主催]前橋の美術実行委員会

[共催]アーツ前橋、上毛新聞社

[協力]アートギャラリーミュージズ、画廊翠巒、ギャラリーあーとかん、ギャラリーアートスー
プ、ギャラリーオーツ、ぎやらりー君香堂、ギャラリーFROMまえばし、点 Gallery、中之沢美
術館、ノイエス朝日、ヤマトギャラリーホール、株式会社鈴木ストア、map前橋“市民”ギャ
ラリー、障害福祉サービス事業所「ぶらーな」

[後援]群馬県、前橋市教育委員会、前橋商工会議所、(公財)前橋観光コンベンション協会、群馬
テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋中心商店街協同組合

【出品点数】 118点

【入場者数】 2,904名

【印刷物】 図録 日本語 B4変型判 50頁 1,000部

チラシ A4判 71,000部

ポスター B2判 1,100部

【関連事業】 ギャラリートーク

出品作家によるギャラリートークを毎週末開催した。

[日時・参加作家]

2月8日(土)14時30分から16時まで Makoto、下山直紀、中村敬太郎、林耕史

2月9日(日)14時30分から16時まで 今井ひさ子、遠藤夏香、大島康幸、金井訓志

2月15日(土)14時30分から16時まで 志村真悠、田中正、長竹真典、深須砂里、渡邊辰吾

2月22日(土)14時30分から16時まで 有村真鐵、今井由佳、ヨシダノボル、手島彰

※3月7日、14日、15日は中止

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]200名

Makotoパフォーマンス

出品作家のMakotoがディレクターとなり、展示作品と音楽、身体表現を組み合わせたパフォーマンスを行った。

[日時]2月8日(土)13時30分開演

[会場]アーツ前橋 ギャラリー



[参加人数]120人

街なか展示ツアー

街なかで作品展示するアーティストたちと一緒に会場を巡った。

[日時]2月9日(日)11時から

[会場]中心市街地各所

[参加人数]20名

Abe” M” ARIAパフォーマンス「トナリのビジュツ―界隈で踊る」

参加作家のAbe” M” ARIAによるダンスパフォーマンスを行った。

[日時]2月9日(日)、2月22日(土)16時30分から

※3月14日は中止

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]50名

【延期・中止となった関連事業】

ニャムコム天笠恵子パフォーマンスイベント『昭和少女』

参加作家のニャムコム天笠恵子によるライブパフォーマンス

[日時]3月1日(日)19時開演(延期・開催時期未定)

[会場]前橋市芸術文化れんが蔵(前橋市三河町1-16-27)

シンポジウム「前橋のつながり」

市民と出品作家によるシンポジウム

[日時]2月29日(土)14時から15時30分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

市民と出品作家の集いトーク

市民と出品作家が対話するイベント

[日時]3月15日(日)14時から15時30分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

【縮小して開催した展示】

屋外展示 渡邊辰吾《doors》

[会場]中央通り

[日時]3月1日(日)のみ展示

【市内ギャラリー等で開催された連携企画】

前橋の版画2020 ―その現在地

[会期]2月8日(土)～2月24日(月)

[会場]アートギャラリーミュージズ(前橋市天川大島町3丁目7-9)

もう一つの前橋の美術 vol.2

[会期]2月29日(土)～3月8日(日)

[会場]画廊翠巒(前橋市文京町1丁目47-1)

5Work Tables in あーとかん、numina

[会期]1月18日(土)～1月26日(日)、3月7日(土)～3月15日(日)

[会場]ギャラリーあーとかん(前橋市上新田町680-12)

いぬとねこ展vol.7、いとしのおんなのこ展vol.5、色彩とペン画の息吹展

[会期]2月8日(土)～2月22日(土)、2月28日(金)～3月8日(日)、3月13日(金)～3月22日(日)

[会場]ギャラリーアートスープ(前橋市表町2丁目20-16)

花と動物—いきものアート展、第2回アートセレクション展

[日時]1月24日(金)～2月2日(日)、2月7日(金)～2月17日(月)

[会場]ギャラリーオーツ(前橋市荒牧町2丁目15-10)

新春秀作展“光る”、織／染 限りなく…

[日時]1月25日(土)～2月2日(日)、2月22日(土)～3月1日(日)

[会場]ぎゅらりー君香堂(前橋市千代田町4丁目1-6)

「飯出袈裟市・綿貫哲雄」二人展、「新井コー児・糸井千恵美」版画展

[日時]2月1日(土)～2月7日(金)、2月15日(土)～2月21日(金)

[会場]ぎゅらりーFROMまえばし(前橋市上小出町2丁目10-18)

縁が読み解く前橋の美術今むかし展、前橋の美術・縁の華やぎ

[日時]1月30日(木)～2月10日(月)、2月20日(木)～2月24日(月)

[会場]詩季画材ギャラリー(前橋市南町4丁目47-6 2F)

sozai 染・金属造形・油彩・陶・七宝作品展

[日時]2月15日(土)～2月23日(日)

[会場]点 Gallery(前橋市富士見町時沢1850-1)

森の中の美術展XX

[日時]2019年9月15日(日)～11月24日(日)

[会場]中之沢美術館(前橋市粕川町中之沢249-14)

可視2020、井田秋雄個展、4人の作家による3.11その前とその後

[日時]1月25日(土)～2月2日(日)、2月8日(土)～2月16日(日)、3月7日(土)～3月15日(日)

[会場]ノイエス朝日(前橋市元総社町73-5)

前橋の美術の環(わ)—自然との共鳴2020—

[日時]1月28日(火)～3月27日(土)

[会場]ヤマトギャラリーホール(前橋市古市町118 株式会社ヤマト1F)

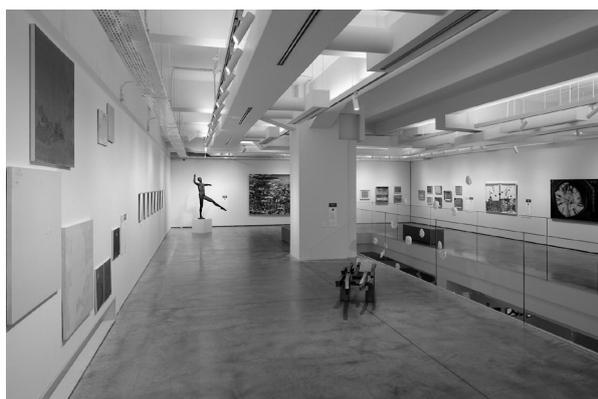
【参加作家有志による作品展示】

臨時休館中で閉まっている交流スペースのロールカーテンを開けて、「トナリに美術」があるというメッセージを込めて、中止になった展覧会出品作品の一部を展示した。

[会期]3月19日(木)～5月13日(水)

[会場]アーツ前橋 交流スペース ※ガラス越しでの鑑賞

【担当学芸員】 住友文彦、若山満大



II

地域アートプロジェクト

滞在制作事業 海外アーティスト 概要

本年度、1組目のアーティストは、国立現代美術館レジデンシー・コヤン、国立現代美術館、韓国(MMCA Residency Goyang, National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea)との「国際芸術家交流プログラム/International Artist Exchange Program」として実施した。また、2組目のアーティストは、前年度同様海外在住のアーティストやキュレーターによる推薦を経て、日本国外のアーティストを招聘した。

【推薦委員】	クォン・ジン	韓国	キュレーター
	照屋勇賢	日本(※アメリカ在住)	アーティスト
	かないみき	日本(※ドイツ在住)	アート・ジャーナリスト
	ヤップ・ソービン	マレーシア	キュレーター
	ヤオ・ポーリーン	香港	M+キュレーター

滞在制作事業 群馬県にゆかりのあるアーティスト 概要

5年目となった「群馬県にゆかりのあるアーティスト」を対象とした公募では、年齢制限を撤廃し、1組のアーティストを募集した。また、滞在制作アーティスト以外にもスタジオの利用を通して支援を行うプログラムのモデル事業を実施した。

【公募期間】 2019年5月13日(月)～7月10日(水)

【公募内容】 年齢制限なく、表現手法に関係なく、群馬県にゆかりのあるアーティストを募集した。

【応募数】 13件

【審査日時】 2019年7月20日(土)

【審査員】 木村絵理子 キュレーター／横浜美術館・主任学芸員
白川昌生 アーティスト
住友文彦 アーツ前橋 館長

キム・ジェミニ

海外在住のアーティストを対象にした滞在制作では、2019年度より国立現代美術館レジデンシー・コヤン(MMCA Residency Goyang/韓国)と二国間交流事業プログラムを実施した。2019年6月より、韓国を拠点に活動し、韓国と東アジア諸国でポスト植民地研究に取り組んでいるリサーチベースのアーティスト、キム・ジェミニ(Kim Gemini)を招聘した。植民地時代から現在につながる食文化としての「肉じゃが」「農業」についてのリサーチを中心に行い、滞在後半には肉じゃがを持ち寄り、その記憶を話し合うワークショップなどを開催した。



【滞在期間】 2019年6月3日(月)～8月29日(木)
【滞在場所】 堅町スタジオ(前橋市千代田町2-4-1)

【関連事業】 オープンスタジオ/肉じゃがマスターチャレンジ in 前橋 前橋市 肉じゃがコンテスト
aka 終戦記念食事会/アーティストトーク
肉じゃがを持ち寄る参加者を募集し、食べ比べを行うワークショップの後、リサーチ成果を報告するアーティストトークを行った。
[日時]8月24日(土)11時から18時まで
[会場]堅町スタジオ
[参加人数]84名

MMCA Residency Goyang Open Studio 15

MMCA Residency Goyangのオープンスタジオにて前橋で制作を行った映像などの作品等を発表した。

[日時]2019年10月7日(月)～11月9日(土)

[会場]国立現代美術館レジデンシー・コヤン(MMCA Residency Goyang)、韓国

【コーディネーター】 福西敏宏(合同会社前橋文化計画 副代表)

【担当学芸員】 五十嵐純



増田拓史

2019年度より国立現代美術館レジデンシー・コヤン(MMCA Residency Goyang/韓国)と二国間交流事業プログラムを実施した。交流事業初年度の2019年度は、アーツ前橋からアーティストを複数名選定し、国立現代美術館レジデンシー・コヤンの選考により、増田拓史が選出された。増田は、朝鮮戦争以降韓国国内で増加した国際養子縁組についてのリサーチを行い、インタビューを行った音声をもとに作品を制作。複数年継続するプロジェクトとして、制作過程を韓国にて発表した。



【滞在期間】 2019年7月3日(水)～8月30日(金)

【滞在場所】 国立現代美術館レジデンシー・コヤン(MMCA Residency Goyang)、韓国

【関連事業】 MMCA Residency Goyang International Residency Exchange Program Artist Exhibition 2019 "Facing the Flat world"

滞在先のMMCA Goyangにてオープンスタジオを行った。

[日時]2019年8月9日(金)～8月22日(木)

[会場]国立現代美術館レジデンシー・コヤン(MMCA Residency Goyang)、韓国

ワークショップ Red Hot Chili Powers

MMCA Goyangでのオープンスタジオ初日に、キムチから発電させるワークショップを行った。

[日時]2019年8月9日(金)13時30分、15時

[会場]MMCA Residency Goyang Studio 23

【担当学芸員】 五十嵐純



カシャ・フダコウスキ

カシャ・フダコウスキはロンドン出身で現在はベルリンを拠点に活動している。今回の滞在制作では、これまで異なる国々で撮影を行ってきた映像プロジェクト〈ワードカウント〉の展開を試みた。前橋を「未来都市」としたオリジナルの脚本をもとに、商店街や市内の飲食店を舞台に撮影を行い、自身のドローイングを使用したアニメーションを制作。また市内の手話サークルのメンバーやアーティスト、学生など多くの前橋市民が出演者として映像制作に関わった。



【滞在期間】 2019年12月9日(月)～2月9日(日)

【滞在場所】 堅町スタジオ

【関連事業】 オープンスタジオ

前橋を舞台に制作した映像作品の上映や、作品制作のため行ったリサーチの報告、また撮影に使用した小道具やドローイングの展示を行った。

[日時]1月25日(土)13時から18時まで

[会場]堅町スタジオ

[参加人数]21名

【コーディネーター】 福西敏宏

【担当学芸員】 五十嵐純、池上朋



三枝愛

三枝愛はこれまで、生家が営む原木椎茸栽培を取り巻く環境とその変化に興味を持ち、それらを主なテーマとしたインスタレーション作品《庭のほつれ》を中心として制作を行ってきた。また、東日本大震災以降、家業で使用している原木の産地が群馬県桐生市であることから、それらを扱った展示やパフォーマンスを「群馬青年ビエンナーレ2017」や「アートプロジェクト高崎」にて発表してきた。滞在制作中は、原木の仕入れ先である材木業者や、前橋近隣の椎茸農家を訪れ、地域や環境によってことなる栽培方法などを調査した。



【滞 在 期 間】 2020年2月17日(月)～3月31日(火)

【滞 在 場 所】 豎町スタジオ

【関 連 事 業】 オープンスタジオ

滞在中に三枝が収集した椎茸の胞子を紙に写したものや、椎茸栽培に使用するおがくずなどを展示。また、調査に訪れた前橋近郊の椎茸農家の位置と栽培方法を記したマップなど、リサーチの成果を披露した。

[日時]2020年3月21日(土)13時から18時まで、22日(日)13時から17時まで(予約制)

[会場]豎町スタジオ

[参加人数]30名

【コーディネーター】 NPO法人マエバシ・アート・プラクティス

【担当学芸員】 池上朋、五十嵐純



飯沢康輔

今年度から新たに、「堅町スタジオ」の利用を通して支援を行うプログラムのモデル事業として開始した「スタジオ・サポート・プログラム」。その第1回目として、群馬県吾妻郡中之条町を拠点に活動する飯沢康輔が参加した。

飯沢は、2011年の震災以降、より強く人や地域との繋がりを意識し、表現として積極的に取り入れている。スタジオ利用中は、起床時と就寝時に毎日ドローイングを描くことを試みるなど「日常の動作の一部」として制作をつづけた。また、前橋市内で出会った市民のポートレートを描くなど、地域の交流のなかから作品を生み出していった。



【スタジオ利用期間】 2020年2月15日(土)～3月31日(火)

【制作場所】 堅町スタジオ

【関連事業】 オープンスタジオ

飯沢がスタジオ利用中に制作した作品や、制作中に気が付いたスタジオ内にあるモノを撮影した写真、アイデアをメモしたホワイトボードなどを展示した。

[日時]2020年3月21日(土)13時から18時まで、22日(日)13時から17時まで(予約制)

[会場]堅町スタジオ

[参加人数]30名

【担当学芸員】 池上朋、五十嵐純



アーツであさごはん

ロブソンコーヒーアーツ前橋店にて毎回ゲストを呼び朝食会を行った。これまでの事業関係者のネットワーク強化及び、事業の枠を超えた新しい関係性の構築を目指した。

【 運 営 】 [主催]アーツ前橋
【 会 場 】 ロブソンコーヒーアーツ前橋店

【 開 催 概 要 】 アーツであさごはん vol.0 滝沢達史

滝沢氏の活動として、カマクラ図工室やホハルの紹介や表現の森で協働するアリスの広場などについて話を伺い、意見交換を行った。

[日時]2019年11月26日(火)8時30分から9時30分まで

[ゲスト]滝沢達史(アーティスト)

[参加人数]15名

アーツであさごはん vol.1 江原昌子

江原氏が近年取材を行っている県内の外国人移住者についての現状などについて話を伺った。

[日時]2019年12月16日(月)8時30分から9時30分まで

[ゲスト]江原昌子(上毛新聞社記者)

[参加人数]9名

アーツであさごはん vol.2 千葉功、橋本薫

漆芸作家の千葉氏と街づくり事業に携わりデザインスクールなども行うMMAの橋本氏を招き、地域の工芸やデザインについての情報交換を行った。

[日時]2020年2月22日(土)8時30分から9時30分まで

[ゲスト]千葉功(漆芸作家)、橋本薫(建築家、MMA/前橋まちなかエージェンシー)

[参加人数]12名

【 助 成 】 地方創生推進交付金

【担当学芸員】五十嵐純



多文化共生プロジェクト

新規の地域アートプロジェクト事業として、地域に住む海外をルーツにする留学生や移住者らとともに取り組むプロジェクトを行う。3ヶ年計画の1年目として、コーディネーターによる県内・市内の外国籍を持つ留学生や移住者の推移や現状の調査を行い、年度末にはゲストを招いて勉強会を開催した。

【 運 営 】 [主催]アーツ前橋
【コーディネーター】 福西敏宏、小出和彦

【開 催 概 要】 多文化共生プログラムについての勉強会

本年度行った調査の報告をもとに、どのようなプログラムのあり方が望ましいか、有識者の意見を伺う勉強会を開催した。

[日時]2020年3月20日(金・祝)14時から17時(オンラインにて開催)

[ゲスト]白川昌生(アーティスト)、袴田京太郎(彫刻家、武蔵野美術大学教授)、海老原周子(一般社団法人kuriya)

【 助 成 】 地方創生推進交付金
【担当学芸員】 五十嵐純、池上朋



III

ラーニング

〈アーティスト・イン・スクール(A.I.S)〉全体概要

アーティストが前橋市内の学校へ出向き、ワークショップや授業を行った。アーティスト・イン・スクール4年目となる2019年度は市内小学校2校と中学校1校で実施し、桃川小学校のプログラムは本年度で3年目、第六中学校も3年目の継続事業となった。

- 【主 催】 アーツ前橋
- 【共 催】 アートによる対話を考える実行委員会
- 【助 成】 平成31年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業
 (博物館を中核としたクラスター形成事業)
- 【協 力】 前橋市立第六中学校、前橋市立桃川小学校、前橋市立勝山小学校
- 【印 刷 物】 報告書 A4判 8ページ中綴じ 3,000部
 記録映像 ダイジェスト版

住中浩史 × 前橋市立第六中学校



無編集の映像作品をグループ制作するプログラム。アーティストと美術教員、学芸員、コーディネーターが協働で授業開発と実践を行った。現代の中学生はYouTubeをはじめとした映像コンテンツに親しんでいるものの、美術科教育における映像メディア学習の実践は非常に少ないのが現状である。今回の授業では、自分の考えを映像として表現する力、試行錯誤を繰り返しなら作り上げる力、映像から作り手の意図を読み取る力を育むことを目指した。本授業は、第59回関東甲信越静地区造形教育研究大会の公開授業として開催。

- 【 日 時 】 2019年8月29日(月)～2020年1月21日(火)全12コマ×4クラス
- 【 会 場 】 前橋市立第六中学校 美術室など
- 【 講 師 】 住中浩史
- 【 対 象 】 前橋市立第六中学校 3年生4クラス 123人
- 【コーディネーター】 小田久美子 (アートコーディネーター/エデュケーター)
- 【担当学芸員】 若山満大



尾花藍子×前橋市立勝山小学校



言葉を使わずに相手とコミュニケーションをとるワークショップを実施。児童、教員、スタッフ全員が参加者となり、2人1組になり、身振り手振りやアイコンタクト、動作などを徐々に制限していく中で、コミュニケーションの方法を編み出した。日頃意識しにくい周囲の環境や生活音、人の気配などに耳をすませ、全身で感じ相手に表現するということを体験。尾花がダンスの振付や演出をするときに大切にしている手法を、ワークショップというかたちで体感するプログラム。

- 【 日 時 】 2020年1月21日(火)8時50分から12時20分まで（「図画工作」の授業時間内）
- 【 会 場 】 前橋市立勝山小学校 多目的ルーム
- 【 講 師 】 尾花藍子
- 【 対 象 】 前橋市立勝山小学校 5年生2クラス 57人
- 【コーディネーター】 梶原千恵(群馬大学大学院)
- 【担当学芸員】 吉田絵美



中島佑太 × 前橋市立桃川小学校



2017年度、2018年度は主に図工授業の教員の補助を行い、図工に苦手意識を持つ児童たちにも表現することの楽しさをアーティスト独自の視点から伝えてきた。2019年度はこれまで通りの図工授業の補助のみならず、アーツ前橋の収蔵作品である近藤嘉男の《足尾風景》(1950年)から中島自身の現代アートの作品までを児童とともに鑑賞しながら、社会の問題や課題に対して美術がアプローチできることを児童に感じてもらえるような授業を組み立てた。作家の近藤嘉男が足尾銅山へ自ら出向き調査を行い作品を描いたように、児童たちには自分の目の前にいる相手の話をよく聴き、聴いた話から作品を制作することの意味を一緒に考えた。

※この活動は南橋団地の住民を対象としたアーツ前橋の「表現の森」の一環として行われた継続事業。



【日時】 2020年1月～2020年2月26日(水)

【会場】 前橋市立桃川小学校 視聴覚室 4年生各教室 5年生各教室

【講師】 中島佑太

【対象】 前橋市立桃川小学校 4年生3クラス 5年生3クラス 6年生3クラス

※4年3組のみ臨時休校により中止

【印刷物等】 表現の森特設サイト記録：<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project03/>

【担当学芸員】 今井朋

石坂亥士・山賀ざくろ×清水の会えいめい／ 小規模多機能の家じゃんけんぽん



2016年度から2018年度までは、清水の会えいめいのデイサービスや特別養護老人ホームで活動を行っていたが、市内の高齢者施設での活動の広がり意識し、2019年度は新たな施設としてじゃんけんぽん大利根の小規模多機能の家でも活動を開始した。えいめいでの活動は、これまで通り特別養護老人ホームの高齢者との身体と音のワークショップを継続し、じゃんけんぽんでは通常のワークショップを2回実施するほかに福祉や医療に関わる外部の参加者を募り、公開ワークショップを1回開催した。

また、本年度から群馬医療福祉大学の山口智晴教授をプロジェクトのアドバイザーとしてチーム編成を行うことで、福祉や医療の専門家の視点からの活動の分析も行った。



- 【活動期間】 2020年5月8日(水)～11月18日(月)全4回
- 【アーティスト】 石坂亥士(神楽太鼓奏者)、山賀ざくろ(ダンサー)
- 【連携先】 社会福祉法人 清水の会えいめい 特別養護老人ホーム
認定NPO法人 じゃんけんぽん 小規模多機能の家
- 【コーディネーター】 小田久美子、木村祐子
- 【アドバイザー】 山口智晴(群馬医療福祉大学教授)
- 【印刷物】 チラシ A4版 500部程度
表現の森特設サイト記録記事掲載
<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project01/>
ダイジェスト映像 2本
- 【参加人数】 225名
- 【担当学芸員】 今井朋



滝沢達史×アリスの広場



アリスの広場の居場所維持が困難であることから、2018年度にアリスの広場とLGBTQ支援団体のハレルワが前橋市街地のオリオン通りに共同で新しい若者支援のための居場所を作ることになり、滝沢達史はその2団体との交渉なども含め拠点づくりを進めた。特に、これまでアリスの広場で行っていた「アリス美術部」の活動の拠点を自分たちの手で作るためのDIYワークショップに切り替え、若者たちが自分の場所を自主的に作ることに活動の重点を置いた。拠点づくりに参加できる若者は限られるため、これまで行ってきたアーツ前橋の休館日に展覧会を訪れる「ゆったりアーツ」のプログラムも継続することで、若者たちの参加できるプログラムの選択肢を広げた。



「表現の生態系」展では、アリスの広場で出会った若者とのチャットをきっかけに、高校生たちが通学に使用する上毛電鉄の車両内にこれまでの活動の記録の展示を行い、若者やアリスの広場のサポータースタッフが参加した。

【日 時】 2019年4月20日(土)～2019年12月23日(月)全7回

【アーティスト】 滝沢達史

【連携先】 NPO法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場
ハレルワ

【コーディネーター】 天羽絵莉子

【印刷物】 表現の森特設サイト記事掲載

<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project02/>

【参加人数】 186名

【担当学芸員】 今井朋

中島佑太×南橋団地



本年度の活動では、全6回のワークショップを予定した。夏の企画展「ビヨンド20XX」の中で本プロジェクトの展示を作るために、これまでの南橋団地でのワークショップに定期的に参加してくれた子どもたちに手紙形式のワークショップチラシを配布し、参加者を募集した。アーツ前橋で開催するワークショップへの参加意思を表明してくれた子どもたち5名と一緒に「美術館ってなに？」というプログラムを立ち上げた。このワークショップの中で、子どもたちがギャラリーに展示する作品として近藤嘉男《足尾風景》(1950年、アーツ前橋蔵)を選んだことをきっかけに、本年度は南橋団地の住民を対象にした足尾へのバスツアーを子どもたちと企画することになった。これまでワークショップの参加者であった子どもたちが、本年度はプログラムをアーツ前橋と一緒に作るメンバーとして活動してくれた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3月に予定されていたバスツアーは延期となった。



また、このプログラムを並行して、桃川小学校のAISプログラムも継続した。上記の《足尾風景》の作品から作品を作ることを意味そのものを考えるプログラムを学校内で展開することで団地でのプログラムと学校でのプログラムを連動させた。

【日時】 2019年7月7日(日)～2020年3月30日(月)全6回(うち2回が中止または延期)

【アーティスト】 中島佑太

【連携先】 南橋団地、南橋町子ども育成会、前橋市立桃川小学校

【印刷物】 チラシ A4版 3種

表現の森特設サイト記録掲載

<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project03/>

【参加人数】 136名

【担当学芸員】 今井朋



Port B×あかつきの村

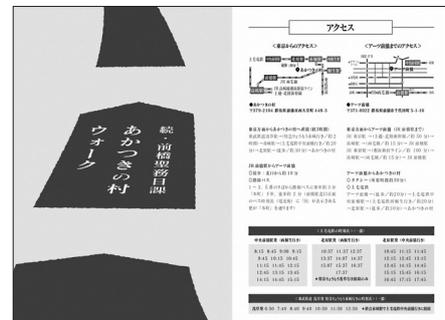


2016年の「表現の森 協働としてのアート」展の際に発表された〈前橋聖務日課〉をきっかけに、高山明/Port Bは赤城山麓に位置するあかつきの村に出会った。インドシナ難民の中でも精神疾患を発症した人たちをも受け入れてきたこの施設を舞台に、「表現の生態系」展の関連プログラムとして、新たな体験型作品を《続・前橋聖務日課 あかつきの村ウォーク》として発表した。

ガイドマップを片手に「あかつきの村」内を歩きながら、敷地内の8カ所に設置されているQRコードを読み取りながら散策をするプログラムを行った。



- 【プログラム実施期間】 2019年10月12日(土)～2020年1月13日(月・祝)
- 【アーティスト】 高山明/Port B
- 【連携先】 社会福祉法人 フランシスコの会 あかつきの村
- 【コーディネーター】 福西敏宏
- 【印刷物】 MAP 蛇腹折り 16頁 5,000部
- 【担当学芸員】 今井朋



表現の森 実施事業一覧

日付	曜日	時間	イベント名	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2019/ 4/20	土	13:00～17:00	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	21
2019/ 4/21	日	13:00～17:00	滝沢達史×アリスの広場 滝沢相談室	滝沢達史	ロブソンコーヒー	4
2019/ 5/ 8	水	14:30～15:30	石坂亥士・山賀ざくろ×じゃんけんぼん	石坂亥士、山賀ざくろ	じゃんけんぼん	44
2019/ 5/18	土	10:30～15:30	後藤朋美×のぞみの家 心の花のWS	後藤朋美	のぞみの家	12
2019/ 5/22	水	13:00～16:00	滝沢達史×アリスの広場 ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	12
2019/ 6/15	土	16:00～18:00	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	会議室	38
2019/ 6/16	日	13:00～17:00	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	7
2019/ 7/ 7	日	14:00～17:00	中島佑太×南橋団地 美術館ってなに？WS	中島佑太	ギャラリー	5
2019/ 7/22	月	14:00～16:00	石坂亥士・山賀ざくろ×じゃんけんぼん	石坂亥士、山賀ざくろ	じゃんけんぼん	42
2019/ 7/24	水	13:00～16:00	滝沢達史×アリスの広場 ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	14
2019/ 7/25	木	13:00～18:00	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	まちの保健室	18
2019/ 8/17	土	10:00～15:30	廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家 空のWS	廣瀬智央、後藤朋美	華蔵寺公園	28
2019/ 8/19	月	14:30～15:30	石坂亥士・山賀ざくろ×えいめい	石坂亥士、山賀ざくろ	えいめい	74
2019/10/10	木	14:00～18:00	滝沢達史×アリスの広場 ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	13
2019/10/19	土	11:20～14:00	廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家 食のWS	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	34
2019/11/18	月	13:30～16:15	石坂亥士・山賀ざくろ×じゃんけんぼん じゃんけんぼん公開ワークショップ	山口智晴、石坂亥士、 山賀ざくろ	じゃんけんぼん	49
2019/11/26	火	12:45～14:30	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	まちのほけんしつ	18
2019/11/26	火	14:30～17:00	滝沢達史×アリスの広場 ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	20
2019/12/22	日	10:00～20:00	滝沢達史×アリスの広場 アリス美術部	滝沢達史	上毛電鉄大胡駅	20
2019/12/15	日	9:00～12:00	中島佑太×南橋団地 クリスマスWS	中島佑太	南橋団地集会室	25
2019/12/15	日	14:10～16:00	中島佑太×南橋団地 クリスマス会	中島佑太	南橋団地集会室	75
2020/ 2/22	土	10:00～15:30	廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家 赤城山バスツアー	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家、明月館、 赤城山第一スキー場	14
2020/ 2/29	土	13:00～16:00	中島佑太×南橋団地 WS／砂漠	中島佑太	南橋公民館	延期
2020/ 3/ 1	日	9:00～16:30	中島佑太×南橋団地 足尾ツアー下見WS	中島佑太	足尾町	8
2020/ 3/29	日	9:00～16:30	中島佑太×南橋団地 足尾風景バスツアー	中島佑太	足尾町	延期
2020/ 3/30	月	13:00～16:00	中島佑太×南橋団地 足尾バスツアー計画WS	中島佑太	南橋公民館	8

アーツナビゲーター研修

対話による鑑賞プログラム「おしゃべりアートデイズ」で、ファシリテーションを行うボランティア「アーツナビゲーター」を育成した。研修では、対話による作品鑑賞の意義や作品や作家情報の調べ方、ガイドプランの作成を学び、コーチングを行いながら、情報提供型のファシリテーションを実践した。本年度は、1作品についての対話型鑑賞だけでなく、展覧会コンセプトについても対話できるような鑑賞をめざした。研修を経て、10人がアーツナビゲーターとして来館者対応を行った。

【主催】アーツ前橋

【講師】齊藤佳代、アーツ前橋学芸員

【印刷物】チラシ A4判 両面 3,000部
(片面は、おしゃべりアートデイズ)

【参加人数】84名

【担当学芸員】辻瑞生、吉田絵美

アーツナビゲーター募集要項

研修日時	第1回	7/6(土)	10:30-16:30	基礎研修
	第2回	8/23(金)	10:30-16:00	実践研修
	第3回	8/24(土)	10:30-16:00	実践研修
	第4回	11/15(土)	10:30-16:00	実践研修
	第5回	2/14(金)	10:30-16:00	実践研修
	第6回	2/15(土)	10:30-16:00	実践研修

応募条件
 ・通学・通勤・通園・通学可能な方
 ・18歳以上29歳以下の方
 ・定住者の方
 ・アートの鑑賞に興味のある方

応募方法
 応募書、履歴書、写真(2枚)を封筒に入れて、アーツナビゲーター事務局へ送付してください。応募書には「アーツナビゲーター」として応募することを明記してください。

お問い合わせ
 アーツナビゲーター事務局
 〒371-0022 前橋市千代田5-1-16 TEL: 027-230-1144
 FAX: 027-233-2016 E-MAIL: info@artnavi.jp



【活動履歴】

日付	曜日	時間	内容	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2019/ 7/ 6	土	10:30~16:30	基礎研修 (座学、ワークショップ)	齊藤佳代、辻瑞生、吉田絵美	スタジオ、ギャラリー	13
2019/ 8/23	金	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション、グループワーク)	齊藤佳代、辻瑞生、吉田絵美	スタジオ、ギャラリー	13
2019/ 8/24	土	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション、グループワーク)	齊藤佳代、辻瑞生	スタジオ、ギャラリー	11
2019/10/16	水	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション)	齊藤佳代、辻瑞生、吉田絵美	スタジオ、ギャラリー	10
2019/11/16	土	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション、コーチング)	齊藤佳代、辻瑞生、吉田絵美	スタジオ、ギャラリー	10
2019/11/23	土	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション、コーチング)	齊藤佳代、辻瑞生、吉田絵美	スタジオ、ギャラリー	10
2020/ 2/14	金	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション)、面談	齊藤佳代、辻瑞生	サポータールーム、 ギャラリー	7
2020/ 2/15	土	10:30~16:00	実践研修 (ディスカッション)、面談	齊藤佳代、辻瑞生	サポータールーム、 ギャラリー	10

おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターとともに、対話による作品鑑賞をするプログラム。美術館を訪れた大人から子どもまでを対象とした。約30分で2作品をじっくりと鑑賞し、感じたことや気づいたことなどの感想を共有することで、自分以外の人と一緒に鑑賞することの楽しさを体験してもらうことを目的とした。本年度は、3つの展覧会の会期中に開催し、年間スケジュールのチラシを作成した。

【主催】アーツ前橋

【参加人数】116名

【担当学芸員】辻瑞生、吉田絵美



【活動履歴】

日付	曜日	時間	展覧会	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2019/ 6/ 3	月	14:00~14:45	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2019/ 6/ 4	火	14:00~14:45	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2019/ 6/ 6	木	14:00~14:45	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2019/ 6/ 7	金	14:00~14:45	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	9
2019/ 6/ 8	土	11:15~12:00	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	6
2019/ 6/ 9	日	11:15~12:00	やなぎみわ展 神話機械	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2019/ 9/ 2	月	14:00~14:30	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/ 9/ 3	火	14:00~14:30	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	9
2019/ 9/ 5	木	14:00~14:30	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2019/ 9/ 6	金	14:00~14:30	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/ 9/ 7	土	11:15~11:45	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/ 9/ 8	日	11:15~11:45	山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2019/12/ 2	月	14:00~14:30	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/12/ 3	火	14:00~14:30	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/12/ 5	木	14:00~14:30	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/12/ 6	金	14:00~14:30	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	4
2019/12/ 7	土	11:15~11:45	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2019/12/ 8	日	11:15~11:45	表現の生態系	アーツナビゲーター	ギャラリー	6

あーつひろば

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり「ひろば」のように色々な体験ができるイベントプログラム。アーティストや展覧会やシーズンイベントと連動したプログラムを実施し、子どもから大人まで幅広い表現に出会う体験ができるようにした。今年度は、展覧会に連動して1人のアーティストを講師として招聘したほか、サポーターの自主企画の回も設けた。



あーつひろば

ARTS HIROBA

【あーつひろばって?】
アーツ前橋でアートを鑑賞したり、
工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり、
ひろばのように色々な体験ができるイベントプログラム。
子どもから大人まで幅広い「アート」を体験しよう!

2019年6月29日(土)13:00~16:00

「チルドレンズ・プライド、前橋」開催!

1 朝起きてから寝るまでの間に「こうなったらいいのになぁ」と思った願いごとをかいたプラカードをつくってそれを持って、みんなでまちをパレードしよう!

講師	山本高之 (アーティスト)
時間	13:00~16:00
会場	アーツ前橋 1階スタジオ、まちなか 市民ホール
対象	4歳~12歳 (保護者同伴推奨)
定員	30名 (先着順)
参加費	無料
持ち物	朝の起床の(ヤラカス、靴、タンブラーなど) アーツ前橋へ電話 027-230-1446
申込先	

※お申し込みとアーツ前橋への入場券を別々に発行いたします。申し込みと入場券は別々に発行いたします。

2 こどもアート探検 (14:00~14:30)
アーツ前橋の1階に展示されている作品をみんなで鑑賞します。見つけたこと、感じたことをみんなで話し合おう!
※お申し込みと入場券を別々に発行いたします。

3 ウまくなくてもいいスタジオ (13:00~16:00)
色々な材料を使って、好きなように工作ができる自由な時間です。おもしろい作品を作ってみよう!
※アーツ前橋1階展示スペースにて開催いたします。お申し込みと入場券を別々に発行いたします。

お問合せ・お申込み

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16 アーツ前橋「あーつひろば」係
TEL 027-230-1444 MAIL artmaebashi@city.maebashi.gunma.jp WEB artmaebashi.jp

【関連イベント】 第1回あーつひろば

[日時]2019年6月29日(土)13時から16時

[会場]アーツ前橋 スタジオ、交流スペース、ギャラリー1

[参加人数]143名

プログラム①: チルドレンズ・プライド、前橋

[講師]山本高之

《チルドレンズ・プライド、前橋》は、アーティストの山本高之を講師に迎え、4歳から12歳までの子どもたち18名が参加した。参加する子どもたちが朝起きてから寝るまでの間に「こうなったらいいのになぁ」と思うことを考えて、その思いをプラカードに書いた後、子どもが自分で制作したプラカードと音の鳴る楽器を持って、馬場川通りと中央通りで、ねがいを声に出してパレードした。パレードの様子の記録映像と子どもたちがつくったプラカードは、七夕飾りの一つとして、7月4日から始まった前橋七夕祭りに併せて展示を開始し、「山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX」展の会期を通じて来場者に対し、山本のこれまでのプロジェクトの紹介も兼ねて展示した。(展示期間:7月4日~9月17日)

プログラム②: ウまくなくてもいいスタジオ

用意された素材や材料で自由に工作ができる定例のプログラム。

プログラム③: こどもアート探検

未就学児と小学生を対象としたアートツアーを実施。アーツナビゲーターがファシリテーターを務めた。

第2回あーつひろば

[日時]2019年12月12日(木)から2019年12月18日(水)14時から17時

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]22名

プログラム: ヒンメリを作ろう2019

毎年クリスマスの時期に行っている交流スペースの飾り付けのために、北欧の伝統的な飾り「ヒ

ンメリ」を制作。昨年度もサポーターが主体になり行ったプログラムであるため、昨年度より凝った作品が出来上がるなど、充実した内容となった。

[展示期間]2019年12月19日(木)から2020年1月14日(火)

第3回あ一つひろば

[日時]2020年2月16日(日)13時から17時

[会場]アーツ前橋 交流スペース、ギャラリー

[参加人数]104名

プログラム①：オリジナルトートバッグを作ろう！

[講師]アーツ前橋サポーター

綿のバッグに蜜ろうクレヨンで絵や模様を描いてもらい、サポーターがアイロンをかけバッグに定着させた。絵や模様を描くときは、色を重ねると面白いことや、こすり出し(フロッタージュ)などの工夫もうながした。

プログラム②：ウマくなくてもいいスタジオ

プログラム③：こどもアート探検



【印刷物】 チラシ A4版 5,000部

ポスター A2版 5部

【担当学芸員】 沼下桂子、若山満大

サポーター活動記録

日付	曜日	内容	日付	曜日	内容
2019/ 4/ 2	火	広報物発送作業	2019/ 7/ 3	水	山本高之 制作 サポート
2019/ 4/ 3	水	広報物発送作業	2019/ 7/ 4	木	山本高之 制作 サポート
2019/ 4/12	金	アーカイブ整備	2019/ 7/ 5	金	山本高之 制作 サポート
2019/ 4/25	木	アーカイブ整備	2019/ 7/ 5	金	学芸員によるサポーター紹介動画撮影
2019/ 5/ 9	木	アーカイブ整備	2019/ 7/10	水	山本高之 制作 サポート
2019/ 5/17	金	やなぎみわ『MM』公演 サポート	2019/ 7/11	木	山本高之 制作 サポート
2019/ 5/18	土	やなぎみわ『MM』公演 サポート	2019/ 7/12	金	山本高之 制作 サポート
2019/ 5/24	金	アーカイブ整備	2019/ 7/13	土	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/ 1	土	山本高之 サポーター向けアーティストトーク	2019/ 7/14	日	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/16	日	山本高之ワークショップ サポート	2019/ 7/15	月	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/23	日	山本高之ワークショップ サポート	2019/ 7/16	火	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/24	月	広報物発送作業	2019/ 7/25	木	アーカイブ整備、山本高之制作サポート
2019/ 6/25	火	広報物発送作業、山本高之 制作 サポート	2019/ 7/27	土	山本高之ワークショップ サポート
2019/ 6/26	水	広報物発送作業、山本高之 制作 サポート	2019/ 7/28	日	山本高之ワークショップ サポート
2019/ 6/27	木	山本高之 制作 サポート	2019/ 7/29	月	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/28	金	山本高之 制作 サポート、あ一つひろば事前準備	2019/ 7/30	火	山本高之 制作 サポート
2019/ 6/29	土	あ一つひろば開催	2019/ 8/ 1	木	山本高之 制作 サポート
2019/ 7/ 1	月	山本高之 制作 サポート	2019/ 8/ 2	金	山本高之 制作 サポート、ワークショップ サポート
2019/ 7/ 2	火	山本高之 制作 サポート	2019/ 8/ 4	日	山本高之 制作 サポート

日付	曜日	内容	日付	曜日	内容
2019/ 8/ 7	水	広報物発送作業	2019/12/ 1	日	トーク「アートを通して考える「マイノリティ」と「市民運動」」サポート
2019/ 8/ 8	木	広報物発送作業	2019/12/12	木	あーつひろば ヒンメリ制作
2019/ 8/23	金	アーカイブ整備	2019/12/13	金	あーつひろば ヒンメリ制作
2019/ 9/ 6	金	アーカイブ整備	2019/12/15	日	あーつひろば ヒンメリ制作
2019/ 9/ 9	月	山本高之 制作 サポート	2019/12/16	月	あーつひろば ヒンメリ制作
2019/ 9/10	火	山本高之 制作 サポート	2019/12/17	火	あーつひろば ヒンメリ制作
2019/ 9/12	木	山本高之 制作 サポート	2019/12/18	水	あーつひろば ヒンメリ飾り付け
2019/ 9/13	金	山本高之 制作 サポート	2020/ 1/12	日	あーつひろば 打ち合わせ
2019/ 9/16	月	サポーターと山本高之 交流会	2020/ 1/12	日	トーク「アウト・オブ・民藝」サポート
2019/ 9/19	木	アーカイブ整備	2020/ 1/14	火	あーつひろば ヒンメリ撤収
2019/10/12	土	(中止)トーク「表現の生態系とは何か?」サポート	2020/ 1/14	火	広報物発送作業
2019/10/17	木	アーカイブ整備	2020/ 1/15	水	広報物発送作業
2019/10/22	火	トーク「前橋聖務日課」サポート	2020/ 1/16	木	広報物発送作業
2019/10/31	木	アーカイブ整備	2020/ 1/17	金	広報物発送作業
2019/11/ 2	土	上映+トーク「神々との饗宴」サポート	2020/ 1/31	金	アーカイブ整備
2019/11/14	木	広報物発送作業	2020/ 2/15	土	あーつひろば事前準備
2019/11/24	日	トーク「アートとフクシ」サポート	2020/ 2/16	日	あーつひろば開催
2019/11/29	金	アーカイブ整備			

(2月28日および3月の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

メンバーシップ (2019年4月1日現在)

【会 員 数】 一般会員：77名
(男46名、女31名／県内72名、県外5名)
ペア会員：21組
賛助会員：1名
法人会員：20社



【会員対象事業】 住友館長と巡る「あかつきの村」ツアー
企画展「表現の生態系」の館外プロジェクト〈続・前橋聖務日課 あかつきの村ウォーク〉の、住友館長やプロジェクトコーディネーターの福西敏宏によるガイド付き鑑賞会と、ROBSON COFFEEアーツ前橋店でスペシャルランチを味わうバスツアーを実施した。あかつきの村では、職員の佐藤さんからベトナム難民のサン君との思い出を聞いた。

[日時]2019年12月15日(日)11時30分から13時30分まで
[料金]メンバーシップ会員 500円、非会員 1,500円
[参加人数]9名



【会 報】 vol.10 2019年10月発行
vol.11 2020年3月発行
【担当学芸員】 辻瑞生

視察・見学

日付	時間	団体名(団体解説)	鑑賞者数	日付	時間	団体名(団体解説)	鑑賞者数
5月24日(金)	15:00	東京藝術大学	13	9月5日(木)	10:30	中央公民館(お母さんのほっと子育て教室)	37
5月31日(金)	13:30	群馬大学教育学部美術教育講座	18	9月9日(月)	10:00	上毛愛隣社まえばしこども園	32
6月4日(火)	19:00	近隣法人等ギャラリーツアー	1	10月3日(木)	10:00	つくばみらい市議会	18
6月4日(火)	19:00	中心商店街関係者ガイドツアー	7	10月28日(月)	19:00	近隣法人等ギャラリーツアー	1
6月13日(木)	11:00	武蔵野大学 水谷研究室	2	10月28日(月)	19:00	中心商店街関係者ガイドツアー	14
6月13日(木)	13:00	長野県信濃美術館東山魁夷館	12	11月14日(木)		2019年度関東甲信越地区造形教育研究大会 群馬大会参加者	5
6月18日(火)	13:30	県立桐生工業高等学校	39	11月15日(金)		2019年度関東甲信越地区造形教育研究大会 群馬大会参加者	7
6月28日(金)	11:30	群馬県立しろがね特別支援学校高等部	9	11月28日(木)	16:30	(株)プラニッツ	4
6月30日(日)	13:30	日本地域政策学会都市分科会	12	11月30日(土)	15:00	スマイルキッズショップーズ	8
7月30日(火)	14:00	高崎市榛名支所産業観光課	3	12月2日(月)	11:00	渋川市立北橋中学校	87
7月30日(火)	14:00	淑徳大学	3	12月3日(火)	11:00	前橋工科大学	3
8月1日(木)	11:15	岩神地区保健推進委員会	14	12月3日(火)	14:00	多摩六都科学館	14
8月1日(木)	15:00	前橋市議会	17	12月5日(木)	15:00	市立前橋高等学校	6
8月24日(土)	13:00	太田市立西中学校	12	12月10日(火)	16:00	国土交通省関東地方整備局	6
8月26日(月)	13:30	2019年度関東甲信越地区造形教育研究大会 群馬大会事前研修会	8	12月18日(水)	10:30	障害福祉サービス事業所ぴっころ	26
8月27日(火)	13:30	箕郷中学校美術部・家庭科部	31	12月26日(木)	13:30	群馬大学教育学部美術講座	17
8月31日(土)	10:00	NPO法人エイチ・ツー・オー	26	2月16日(日)	11:00	桂萱公民館(地区体協・地域づくり協議会)	33

インターンシップ

日付	参加大学	人数
8月5日(月)～8月9日(金)	共愛学園前橋国際大学	1
8月5日(月)～8月9日(金)	高崎経済大学	1
8月5日(月)～8月9日(金)	日本大学	1
11月25日(月)～1月27日(月)	共愛学園前橋国際大学	1

先生のための無料招待ウィーク

期間	展覧会名	参加人数
4月27日(土)～5月12日(日)	やなぎみわ展 神話機械	2
7月20日(土)～8月4日(日)	ビヨンド20XXおよびArt Meets 06	36

博物館実習

期間	人数
8月22日(木)～23日(金)、8月25日(日)～28日(水)	4

IV

連携事業 等

ロビーライブ

前橋市内で音楽のイベントなどを企画する市民をコーディネーターとし、年3回の音楽ライブを実施した。誰でも気軽に鑑賞できるような会場としてアーツ前橋の交流スペースを中心に、様々なジャンルの音楽を紹介した。



- 【主催】 アーツ前橋
【会場】 ロブソンコーヒーアーツ前橋店、アーツ前橋 交流スペース
【入場料】 無料

- 【開催概要】 **ロビーライブ vol. 20 親子で踊ろう ダンスミュージック！**
「子どもも踊れるダンスミュージック」をテーマとし、日中子連れで参加することのできるイベントを実施した。
[日時]2019年8月31日(土)15時30分から18時30分まで
[出演]DJ Shhhhh
[コーディネーター]岡庭涼
[参加人数]78名

- ロビーライブ vol. 21 Jazz/Rock/Dance**
様々なジャンルで活躍する5人組バンドを呼び、ライブを行った。
[日時]2019年11月17日(日)14時から15時まで
[出演]Senkawos(センカラス)
[コーディネーター]岩崎有季
[参加人数]65名

- ロビーライブ vol. 22 Jazz**
Jazzをテーマに名曲を散りばめたライブを行った。
[日時]2020年2月22日(土)13時から14時まで
[出演]浜崎航、松本茜
[コーディネーター]鈴木伸一
[参加人数]90名

- 【担当学芸員】 五十嵐純

身体の人たち「New-Tone～ニュートン」

2016年度に開催した「身体拡張ラボ」参加者を中心に設立し、活動を続けた「身体
の芸術推進実行委員会」が、2019年度に名
称を変更し、「身体の人たち」として活動
を継続した。2019年度は、実行委員それ
ぞれが企画を立ち上げ、年間を通してワー
クショップなどを行う「New-Tone～ニュート
ン」を開催した。



- 【会 期】 2019年9月21日(土)、10月20日(日)、11月24日(日)、12月8日(日)、
2020年1月18日(土)、2月5日(水)、2月8日(土)、2月18日(火)計8日
- 【会 場】 Comm、Maebashi Works、前橋市芸術文化れんが蔵など
- 【主 催】 身体の人たち
- 【構 成 員】 小出和彦、坂川善樹、岡庭涼、中村ひろみ、本田美咲、秋山恵
璃、村田峰紀、荒木聡志、阪中隆文

【開催概要】 New-Tone vol.1 まちなか野糞プラクティス

「糞土師」伊沢正名氏をゲストに迎え、前半は伊沢氏の活動を
レクチャー、後半は実際に街中で野糞が可能な場所を探しに行
くフィールドワークを行った。

[日時]2019年9月21日(土)11時から16時まで

[会場]Comm(群馬県前橋市千代田町2-10-2)、前橋市街地

[参加人数]16名

[企画]阪中隆文



New-Tone Vol.2 おかず石～隅々まで味わう日～

トチアキタイヨウ氏、鳥羽嘉郎氏をゲストに迎え、石をおかずに白米を食べ、普段意識しない味
覚・感覚の拡張を試みるワークショップを開催した。

[日時]2019年10月20日(日)12時から15時まで

[会場]Maebashi Works、利根川河川敷

[参加人数]15名

[企画]たむろ荘(本田美咲、秋山恵璃)

New-Tone Vol.3 むらたみねきといっしょ！スキルをつけよう 効果/テクニカル編

身体の人たち構成員の坂川善樹を講師として、照明や音響など、演劇を形作る様々な技術を学ぶ
プログラムを開催した。

[日時]2019年11月24日(日)13時から15時まで

[会場]comm

[参加人数]10名

[企画]村田峰紀

New-Tone Vol. 4 むらたみねきといっしょ！スキルをつけよう 脚本／演出編

身体の人たち構成員の小出和彦、荒木聡志を講師として、脚本及び演出を体験するプログラムを開催した。

[日時]2019年12月8日(日)10時から15時まで

[会場]前橋市芸術文化れんが蔵

[参加人数]10名

[企画]村田峰紀

New-Tone Vol. 5 先輩のコト

様々なジャンルの表現者が集まり、互いに影響を受けた表現者や作品について語り合うイベントを開催した。

[日時]2020年1月18日(土)14時から17時まで

[会場]comm

[参加人数]10名

[企画]荒木聡志

とろんぶ・るいゆの「農村舞台でシェイクスピア」報告会

身体の人たち構成員の中村ひろみが主宰する「演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ」が行った上三原田農村歌舞伎舞台での「夏の夜の夢」の報告会を開催した。

[日時]2020年2月5日(水)18時30分から21時30分まで

[会場]Maebashi Works

[参加人数]30名

[企画]中村ひろみ

New-Tone Vol. 6 談話室 荒井

荒井正人が未聞の証言とともに語るニッポン演劇入門講義。第3夜は日本現代演劇の嚆矢、太田省吾と転形劇場を取り上げた。

[日時]2020年2月8日(土)10時から15時まで

[会場]comm

[参加人数]10名

[企画]小出和彦

New-Tone Vol. 7 むらたみねきといっしょ！スキルをつけよう 演技編

身体の人たち構成員の中村ひろみを講師として、演技について学ぶプログラムを開催した。

[日時]2020年2月18日(火)13時から15時まで

[会場]Comm

[参加人数]15名

[企画]村田峰紀

New-Tone Vol. 8 NARCO ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止

音楽イベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、中止とした。

[日時]2020年3月21日(土)13時から15時まで

[会場]ロブソンコーヒーアーツ前橋店

[参加人数]中止

[企画]岡庭涼



【印刷物】チラシ A4版 10,000部

【担当学芸員】五十嵐純

うまやの 駅家ノ木馬祭

アーティストの白川昌生が企画・構想した、前橋の歴史上の人物をめぐる虚実ないまぜとなった物語「駅家ノ木馬物語」。その物語に出てくるお祭りを実際に前橋中心市街地で行った。8年目となる2019年は春と秋の2回開催となり、大木馬1体と小木馬4体が参加者の踊りや太鼓の音、「木馬だ、木馬だ、だ、だ、だ」の掛け声と共に、中心市街地を練り歩いた。



【開催概要】スレ！刷れ！木馬Tシャツ！

春の木馬祭りでは着用する、木馬Tシャツを手刷りするワークショップを開催した。

[日時]2019年4月27日(土)13時30分から14時まで

[会場]前橋プラザ元気21 412アトリエ

[参加人数]15名

春の木馬祭り

神輿を担ぎ、かけ声と共に利根川まで練り歩き、利根川にて御水取りの儀式を行った。小出和彦氏による演劇プログラムや小野田藍氏によるパフォーマンスも行われた。

[日時]2019年4月29日(月・祝)11時から14時まで

[会場]弁天通りから広瀬川沿い、利根川まで

[参加人数]70名

弁天様コンテスト

木馬祭り当日、祭りの主役となって前橋のまちなかを練り歩く大木馬に乗る“弁天様”を募集し、コンテストを開催した。

[日時]2019年7月7日(日)13時30分から

[会場]comm (前橋市千代田町2-10-2)

[参加人数]20名

駅家の木馬祭り“前月夜祭”～Burning UMA～

秋の木馬祭りの前月夜、ワラで作られた馬を燃やす前夜祭・お焚き上げが行われた。

[日時]2019年9月7日(土)18時から20時まで

[会場]ヤマダグリーンドーム前橋 第5駐車場

[ゲスト] GOROPIKA

[参加人数]30名



駅家ノ木馬祭 本祭

弁天通り大蓮寺前で住職からのお話を聞き、前橋市中心市街地を練り歩いた。前橋まちなかアート助成採択団体のトンデ空静やハレルワとのコラボレーションも行われた。

[日時]2019年10月26日(土)11時から/14時から

[会場]弁天通り～前橋市中心市街地

[参加人数]100名

【担当学芸員】 五十嵐純



前橋まちなかアート助成

過去5年間にわたり、前橋まちなか文化祭(通称:まちフェス)、めぶくフェス(アート部門)において、まちなかで活動している芸術文化団体への助成を実施してきた。多様な文化の担い手によるまちなかでの活動が増加傾向にあるなか、昨年度以上に、より芸術活動に軸をおいて継続的に活動する団体・個人を支援する制度として「前橋まちなかアート助成」を開始した。9月30日(月)～10月27日(日)の期間中に、中心市街地及びその周辺で実施する芸術文化に関連する企画を広く募集し、11団体が採択され事業を実施した。募集期間:2019年6月1日(土)～6月30日(日)



【主催】 アートによる文化交流推進実行委員会

【助成事業】 まえばし草映画まつり

前橋むーびー部自主制作中編映画「彼岸に架かる橋」の完成披露上映など、自主制作映画の上映を中心とした映画祭を開催した。

[企画者]前橋むーびー部

[日時]2019年10月19日(土)10時から18時

[会場]前橋シネマハウス

[入場者数]202名

まえばし猫町フェス2019 計12企画

猫、詩、俳句、短歌等、共通の趣味を持つ方が交流できる場として、展示やイベントを多数開催した。

[企画者]芽部

[日時]2019年10月5日(土)～11月4日(月・祝)

[会場]前橋中央通り商店街協力店舗など

[入場者数]214名以上

前橋sightプロジェクト2019『とめどなく』

オリオン通りでの街頭展示、移動型パフォーマンス、商店街での大パフォーマンスを開催した。

[企画者]トンデ空静

[日時]2019年9月30日(月)～10月27日(日)

[会場]弁天通り、中央通り、銀座通り、オリオン通り

[入場者数]205名以上

ダンス公演「中空リバース (reverse)」

会場のホール内の倉庫やホール外スペースなどを利用し、持込照明等で独自の空間を作り、ダンス公演を行った。

[企画者]POP HEADS!

[日時]2019年10月5日(土)19時30分から

[会場]前橋市 第1コミュニティセンター 2Fホール

[入場者数]30名

kuroyan個展「星集めの民」など計4企画

イラストレーターkuroyanによる個展や、街なかのスペースを使ったライブペインティングなどを開催した。

[企画者]ギャラリーアートスープ

[日時]2019年10月2日(水)～11月10日(日)

[会場]ギャラリーアートスープ、前橋まちなか音楽館

[入場者数]1,039名

テラフェス2019

アーティスト ジル・スタッサルによる肉を焼く行為から生まれる音とミュージシャンによるセッションや屋上を使ったテントサウナでトークを行うイベントを開催した。

[企画者]テラサワフェス実行委員会

[日時]2019年10月27日(日)10時から20時

[会場]Maebashi Works前、及び屋上

[入場者数]170名

十二支どどどん

山賀ざくろ還暦記念公演【其の二】として、十二支をモチーフにオリジナルの演目や日本の伝統芸能などをアレンジして構成したパフォーマンスの上演を行った。

[企画者]山賀ざくろ企画

[日時]2019年10月20日(日)14時から

[会場]前橋市 第1コミュニティセンター ホール

[入場者数]65名

ya-gins vol.35 柳健司

アーティスト 柳健司氏を招聘しての展覧会を開催した。

[企画者]ヤーギンズ実行委員会

[日時]2019年10月12日(土)～11月10日(日)

[会場]ya-gins

[入場者数]150名

西松秀祐 滞在制作及び展覧会

アーティスト 西松秀祐氏を招聘しての滞在制作及び展覧会を開催した。

[企画者]特定非営利活動法人マエバシ・アート・プラクティス

[日時]2019年10月11日(金)～10月20日(日)金土日祝のみ

[会場]map”市民”ギャラリー

[入場者数]100名

Mouthfeel of R vol.13

DJによる音楽演奏やゲストとしてポカラズ、Linkabell & chigiraの2組を呼んで音楽イベントを開催した。

[企画者]Mouthfeel of R

[日時]2019年10月26日(土)19時から

[会場]ロブソンコーヒー アーツ前橋店

[入場者数]31名

木馬祭り ハレルワと歩こうワークショップ

木馬祭り参加時にハレルワメンバーや一般参加者が持つプラカードなどをワークショップによって制作し、制作したものを持って木馬祭りに参加した。

[企画者]ハレルワ

[日時]2019年10月20日(日)、26日(土)

[会場]ハレルワ、前橋中心市街地

[入場者数]37名

【担当学芸員】 五十嵐純



V

所藏資料

2019年度 収蔵作品 (2019年4月1日 — 2020年3月31日)

	26年度 以前	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度				合計
						購入	寄贈	移管	小計	
絵画	449	2	23	45	9	5	25		30	558
水彩・素描・下図	62	1		1		5	3		8	72
版画	4						2		2	6
写真			38	9	16					63
彫刻・立体ほか	7	3	3	6	6		2		2	27
メディアアート	1	2		2	1	1	1		2	8
工芸		3		3						6
書	32			7						39
	555	11	64	73	32	11	33	0	44	779

2019年度 購入・寄贈作品

作家名	作品名	制作年／ 発行年	初出品展覧会	寸法 (縦×横) cm	素材・材質	区分
イケムラレイコ	島の女 #1	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	購入
イケムラレイコ	島の女 #2	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	購入
イケムラレイコ	島の女 #3	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	購入
イケムラレイコ	島の女 #4	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	購入
イケムラレイコ	島の女 #8	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	購入
ティタ・サリナ	1001つ目の島 -群島の中で最も持続可能な島	2015年	「Jakarta Biennale 2015 “Neither Forward nor Back: Learning in the Present”」(2015年 ジャカルタ インドネシア)	14分11秒	シングルチャンネルビデオ	購入
津上みゆき	View, a cherry tree, 4-12 Nov. 2019	2019年	「そこに在るのは些細なこと」(2019年 ANOMALY 東京)	194.0×194.0	カンヴァス、顔料、アクリル、その他	購入
村上早	ふるえ	2015年	「FACE 2015 損保ジャパン日本興亜美術賞展」(2015年 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館 東京)	114.0×166.0	雁皮紙、リフトグラウンドエッチング、アクアチント	購入
村上早	すてる	2016年	「project N 66 村上早」(2016年 東京オペラシティ アートギャラリー 東京)	118.0×150.0	雁皮紙、リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットパイト	購入
村上早	カフカ2	2017年	個展「村上 早展」(2017年 コバヤシ画廊 東京)	118.0×150.0	雁皮紙、リフトグラウンドエッチング、アクアチント、エッチング	購入
村上早	いぞん	2018年	個展「村上 早展」(2018年 コバヤシ画廊 東京)	118.0×150.0	雁皮紙、リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットパイト(多色)	購入
イルワン・アーメット& ティタ・サリナ	苦痛への信仰	2017-2019年	「The Ring of Fire(2014-ongoing)」(2019年 The Lab NTU CCA シンガポール)	3分18秒	シングルチャンネルビデオ	寄贈
イケムラレイコ	島の女 #6	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	寄贈
イケムラレイコ	島の女 #7	2008年	「ME ZA ME」(2009年 ShugoArts 東京)	42.0×30.0	パステル、紙	寄贈
岩崎孝	コーモリをなぞす	不詳	調査中	93.5×119.2	油彩・カンヴァス	寄贈
岩崎孝	話し合う四人	1982年	「第33回群馬県美術展(1982年 群馬県立近代美術館 群馬)	83.2×119.9	油彩・カンヴァス	寄贈
岩崎孝	解けない	1987年	「個展」(1987年 ギャラリージャパンプレス 東京)	119.5×93.6	油彩・カンヴァス	寄贈
岩崎孝	黒い家々(足尾)	1975-1976年	調査中	72.5×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
岩崎孝	馬鈴薯の列	1987年	調査中	38.0×45.8	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	邑	1975年	「第52回春陽展」(1975年 東京都美術館 東京)	73.0×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	OUIとNON	1981年	「第58回春陽展」(1981年 東京都美術館 東京)	116.5×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	てふてふ	1983年	「第60回春陽展」(1983年 東京都美術館 東京)	128.4×162.4	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	風船を売る男	1994年	「第71回春陽展」(1994年 東京都美術館 東京)	195.5×98.6	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	遊蝶の森	1995年	「第72回春陽展」(1995年 東京都美術館 東京)	116.8×73.0	油彩・カンヴァス	寄贈
笠木實	雪の道	2011年	「第88回春陽展」(2011年 東京都美術館 東京都)	131.0×86.9	油彩・カンヴァス	寄贈
加藤アキラ	地下系の狩	1990年	個展「物語りの流系」(1990年 とさわ画廊 東京)	240.0×235.0×105.0	銅、クランプ	寄贈
塩原友子	日月曼荼羅図屏風	1983年	「第43回日本画院展」(1983年 東京都美術館 東京)	174.5×312.0	紙本着色	寄贈
塩原友子	不詳	1961年	調査中	165.5×184.0	パネル、和紙、墨、岩絵具	寄贈
塩原友子	複眼	1961年	調査中	183.5×183.4	パネル、和紙、墨、岩絵具	寄贈
島岡實	室内B	1958年	「第12回二紀展」(1958年 東京都美術館 東京)	99.5×73.5	油彩・カンヴァス	寄贈
島岡實	赤い花	1961年	「第15回二紀展」(1961年 東京都美術館 東京)	60.6×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
島岡實	萌え渡る乗鞍高原	1996年	「二紀会第50回記念展」(1996年 東京都美術館 東京)	116.8×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
島岡實	ブリエンツ湖畔の秋	1980年	「第34回二紀展」(1980年 東京都美術館 東京)	116.8×91.0	油彩・カンヴァス	寄贈
田島弘章	不詳	1962年	調査中	12.4×17.8	紙、インク	寄贈
田島弘章	不詳	1964年	「群馬NOMOグループの全貌」(2016年 群馬県立近代美術館 群馬)	33.1×24.6	紙、水彩、鉛筆	寄贈
田島弘章	不詳	1964年	調査中	36.0×37.0	紙、水彩、蠟	寄贈
田島弘章	風・傷	1990年頃	「田島弘章・田島智子 現代美術と七宝の二人展」(1990年 前橋市民文化会館 群馬)	70.8×58.0	ミクストメディア	寄贈
田島弘章	アヴィニヨンの冬	1999年	「田島弘章・田島智子 現代美術と七宝の二人展」(2001年 前橋市民文化会館 群馬)	42.0×55.0	ミクストメディア	寄贈

作家名	作品名	制作年／ 発行年	初出品展覧会	寸法 (縦×横) cm	素材・材質	区分
田中朝庸	パニックはいらない	1986年	「第22回主体美術展」(1986年 東京都美術館 東京)	194.0×130.0	油彩・カンヴァス	寄贈
田中朝庸	愛と死とに	2008年	「第44回主体美術展」(2008年 東京都美術館 東京)	130.0×194.0	油彩・カンヴァス	寄贈
三谷慎	JUNKO	1992年	「第10回二人展 絵画と彫刻 塩原友子 三谷慎」(1992年 群馬県民会館展示室 群馬)	32.4×15.7×15.4	ブロンズ	寄贈
横堀角次郎	自画像	1915年頃	調査中	22.0×15.2	油彩・板	寄贈
横堀角次郎	水たまり	1916年頃	調査中	23.2×33.1	油彩・板	寄贈
横堀角次郎	崖下の道	1918年頃	調査中	23.2×33.1	油彩・板	寄贈

2019年度 修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
金子英彦	タンクローリー	カンヴァス、 アクリルガッシュ	有限会社 修復研究所21	記録調査、固着強化、洗浄、旧ワニス除去、裏面木枠清掃・殺菌、変形修正、耳補強、新調木枠への張り込み、充填整形、補彩、ワニス塗布	2019年12月2日(月)～ 2020年3月31日(火)
金子英彦	ガス瞬間湯沸器	カンヴァス、 アクリルガッシュ	有限会社 修復研究所21	記録調査、固着強化、洗浄、旧ワニス除去、裏面清掃・殺菌、変形修正、破損部接着・冠水部補強、耳補強、新調木枠への張り込み、充填整形、補彩、ワニス塗布	2019年12月2日(月)～ 2020年3月31日(火)
正田壤	通り雨		有限会社 修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着・固着強化、洗浄、裏面清掃・殺菌、充填整形、補彩	2019年12月2日(月)～ 2020年3月31日(火)
塩原友子	橘の里	紙本彩色	有限会社 修復研究所21	調査記録、洗浄、浮き上がり接着、固着強化、充填整形、補彩、額縁調整	2019年12月2日(月)～ 2020年3月31日(火)

2019年度 貸出実績

作者名	作品名	展覧会名／会場	会期
中村節也	尾瀬の花	前橋テルサ	2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)
中村節也	アルハンブラ宮殿 (スペイン)	前橋テルサ	2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)
深谷徹	赤城山夏	前橋テルサ	2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)

2019年度 収蔵図書

区分	冊数
図書	2,085
展覧会カタログ	3,435
逐次刊行物	4,267
映像資料	28
合計	9,815

VI

運営／各事業に関する資料

アーツ前橋条例

○アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日

条例第35号

(設置)

第1条 美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

(名称及び位置)

第2条 アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 アーツ前橋
- (2) 位置 前橋市千代田町五丁目1番16号

(事業)

第3条 アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
- (2) 作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
- (3) 作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
- (4) 多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
- (5) 芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

(企画等を行う組織)

第4条 アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。

2 前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(職員)

第5条 アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第6条 アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第7条 学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

(利用等の制限)

第8条 市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - (2) アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
 - (3) その他管理上の支障があると認められるとき。
- 2 市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）

第9条 納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）

第10条 市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第11条 利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
- 2 アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第6条関係）

区 分		観覧料（1人1回につき）	
		個人	団体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	100円	80円
	小学生・中学生・高校生	無料	
特別の企画による展示を行っている場合		1,500円以内で市長が定める額	

摘要

- 1 「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 4 団体とは、10人以上のものをいう。

アーツ前橋運営評議会

【 委 員 】

	氏名（五十音順）	所 属
委 員	片 倉 正 彦	旧・前橋文化推進会議委員
委 員 長	小 島 秀 薫	前橋商工会議所組織運営委員長
委 員	佐々木 吉 晴	いわき市立美術館／宇都宮美術館／柳津町立斎藤清美術館館長
委 員	瀬 谷 ルミ子	国際協力NGO理事長
副委員長	友 岡 邦 之	高崎経済大学地域政策学部教授
委 員	長谷川 秀 子	旧・粕川地区地域づくり協議会食部会部会長
委 員	間々田 博	前橋市立原小学校校長
委 員	黛 若 葉	アドベンチャー集団Do！／榛名湖オートキャンプ場
委 員	水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
委 員	結 城 恵	群馬大学教育基盤センター教授

2020年3月31日現在

【開催記録】

回	日 程	時 間	場 所	内 容
第23回	6月17日（月）	13:00～14:30	前橋市中央公民館 502学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施結果について ・事業の進捗状況について ・平成30年度決算見込み ・開館5年以降の活動方針について
第24回	11月25日（月）	13:00～15:00	前橋市中央公民館 504学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施結果について ・事業の進捗状況について ・令和2年度スケジュールについて ・交流スペースの活用について ・委員懇談会（開催前）
第25回	3月23日（月）	書面開催		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施結果について ・事業の進捗状況について ・前橋市収蔵美術品専門委員会の結果について ・令和2年度スケジュール、評議会年間予定について

【設置要綱】（設置）

第1条 アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第4条 評議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（意見の聴取等）

第6条 評議会は、必要があると認めるときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（庶務）

第7条 評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

アーツ前橋収蔵美術品専門委員会

【委員】

氏名	所属(順不同)
染谷 滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館長
野地 耕一郎	泉屋博古館分館長
武居 利史	府中市美術館 教育普及担当主査
大越 久子	埼玉県立近代美術館 主任専門員兼学芸員

【開催記録】

日程	時間	場所
1月30日(木)	13:00~17:00	アーツ前橋2階 会議室ほか

【設置要綱】 (設置)

第1条 前橋市の所蔵美術品等(以下「美術品」という。)を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 美術品の評価に関すること。
- (2) 美術品の選定に関すること。
- (3) その他美術に係る専門的事項に関すること。

(組織及び委員)

第3条 専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

(委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

(部会)

第6条 委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

来館者数統計

令和元年度月別来館者数

アーツ前橋総来館者数

65,377

年月	来館者数 (A) = (C) + (D) + (B) + (E) + (F) + (H) + (I)										開館日数		
	展覧会観覧者数 (C) + (D)					館外 イベント 参加者数 (B)	交流 スペース (E)	アーカイヴ スペース (F)	カフェ (H)	ショップ (I)	展覧会開催日数	有料 展覧会	
	展示室 (C)		展示室外 イベント (D)										
				(内) 有料 展示室									
平成31年4月	4,096	915	894	625	21	119	1,535	370	845	312	26	12	12
令和元年5月	5,508	1,826	1,567	1,193	259	34	1,387	398	1,276	587	26	26	26
6月	6,345	2,194	2,092	1,528	102	223	1,355	631	1,084	858	26	26	20
7月	6,536	1,043	994	422	49	70	3,649	415	884	475	26	20	12
8月	6,293	1,727	1,639	1,120	88	264	2,299	490	983	530	27	27	27
9月	4,525	1,087	1,059	848	28	50	1,775	404	877	332	26	14	14
10月	4,740	1,239	1,167	845	72	124	1,651	387	877	462	24	16	16
11月	9,361	1,262	1,147	912	115	4,637	1,696	343	845	578	26	26	26
12月	4,513	1,350	1,350	1,056	0	127	1,243	370	839	584	23	23	23
令和2年 1月	5,628	1,547	1,547	1,278	0	158	1,558	418	930	1,017	23	8	8
2月	6,760	2,670	2,670	0	0	164	1,738	612	872	704	25	23	0
3月	1,072	43	43	0	0	0	394	43	547	45	3	3	0
合 計	65,377	16,903	16,169	9,827	734	5,970	20,280	4,881	10,859	6,484	281	224	184

展覧会別観覧者数

展覧会名	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)		
			展示室	展示室外イベント	合計
身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から	平成31年4月19日(金)～ 令和元年7月9日(火)	71	4,981	0	4,981
やなぎみわ 神話機械	平成31年4月19日(金)～ 令和元年7月9日(火)	57	3,346	259	3,605
Art Meets 06 門馬美喜/やんツー	令和元年7月19日(金)～ 9月16日(月・祝)	58	2,390	25	2,415
山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX: 未来を考えるための教室	令和元年7月19日(金)～ 9月16日(月・祝)	58	3,264	242	3,506
表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	令和元年10月12日(土)～ 令和2年1月13日(月)	69	5,211	187	5,398
前橋の美術2020 トナリのビジュツ	令和2年2月8日(土)～ 3月3日(火)	23	2,904	0	2,904
合 計			22,096	713	22,809

刊行物

- &Arts アンドアーツ
 第17号 令和元年10月発行
 A1判 変形折り（仕上がりA4判縦） 3,200部
 第18号 令和2年3月発行
 A1判 変形折り（仕上がりA4判縦） 3,200部
- アーツ前橋 年報No.06 2018年度（平成30年度）
 A4判 92頁 250部
- アーツ前橋 令和元年度 研究紀要（第2号）
 A4判 52頁 1,000部



職員名簿（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

館長	住友 文彦
副館長	新保 正夫
主任	堺 大輔
主任	小屋 綾子
主任	狩野 良輔
主事	高山 あずさ
学芸員	辻 瑞生
学芸員	今井 朋
学芸員	五十嵐 純
学芸員	若山 満大
学芸員	吉田 絵美
学芸員	沼下 桂子 4月26日から9月30日まで
学芸員	北澤 ひろみ 10月1日から
学芸員	池上 朋 11月1日から
嘱託員	福西 みゆき

展覧会出品リスト

展覧会出品リスト

身体と記憶：アーツ前橋所蔵作品から

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	片山真理	30 days in tatsumachi studio	2015年	タイプCプリント、オリジナルフレーム	89.5×57.5	アーツ前橋
2	片山真理	you're mine #001	2014年	タイプCプリント、オリジナルフレーム	106.7×163.8	アーツ前橋
3	片山真理	25 days in tatsumachi studio / 山都園	2015年	タイプCプリント	39.8×30.7	アーツ前橋
4	片山真理	25 days in tatsumachi studio / 鈴木薬局眼鏡部 #002	2015年	タイプCプリント	30.7×39.8	アーツ前橋
5	片山真理	25 days in tatsumachi studio / アツミレコード #001	2015年	タイプCプリント	39.8×30.7	アーツ前橋
6	片山真理	25 days in tatsumachi studio / スズキストア #001	2015年	タイプCプリント	39.8×30.7	アーツ前橋
7	片山真理	25 days in tatsumachi studio / あじさい	2015年	タイプCプリント	39.8×30.7	アーツ前橋
8	小野田賢三	聞こえる?	2013年	サウンドインスタレーション	可変	アーツ前橋
9	平野薫	untitled-jacket-	2008年	ジャンパー	可変	アーツ前橋
10	石内都	ひろしま #106 Donor:Hashimoto,H	2016年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
11	石内都	ひろしま #21 Donor:Segawa,M	2007年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
12	石内都	ひろしま #46 Donor:Kubotaka,S	2007年	発色現像方式印画	108.0×74.0	アーツ前橋
13	石内都	ひろしま #98 Donor:Yokoyama,S	2007年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
14	石内都	ひろしま #43 Donor:Yamane,S	2007年	発色現像方式印画	95.5×74.0	アーツ前橋
15	石内都	ひろしま #61 Donor:Harada,A	2007年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
16	石内都	ひろしま #52F Donor:Hara,T	2014年	発色現像方式印画	23.0×33.5	アーツ前橋
17	三輪途道	普通のありよう—秀真	2009年	檜、漆、白土、彩色	80.0×38.0×23.0	アーツ前橋
18	三輪途道	普通のありよう—雅舞路	2010年	檜、漆、白土、彩色	80.0×39.0×31.0	アーツ前橋
19	清水刀根	農家の人々	制作年不詳	油彩、カンヴァス	80.0×61.2	アーツ前橋
20	池田カオル	記憶の中の今	2003年	乾漆彫刻	90.0×43.0×30.0	アーツ前橋

やなぎみわ展 神話機械

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	やなぎみわ	次の階を探して I	1996年	発色現像方式印画	180.0×720.0	高松市美術館
2	やなぎみわ	案内嬢の部屋 1F	1997年	発色現像方式印画(2点組)	各240.0×200.0	京都市美術館
3	やなぎみわ	XXXS~XXXX	2010年	皮革ほか	7.5~60 2セット(全18足)	株式会社 資生堂蔵
4	やなぎみわ	日清戦争異聞を読む	2012年	ビデオ・インスタレーション	19分31秒	作家蔵
5	やなぎみわ	グローリア & レオン	2004年	ビデオ・インスタレーション	25分52秒	作家蔵
6	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:YUKA	2000年	発色現像方式印画	160.0×160.0	作家蔵
7	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:MIE	2000年	発色現像方式印画	120.0×160.0	作家蔵
8	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:MINAMI	2000年	発色現像方式印画	133.0×160.0	作家蔵
9	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:SACHIKO	2000年	発色現像方式印画	86.7×120.0	作家蔵
10	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:REGINE+YOKO	2001年	発色現像方式印画	128.0×160.0	作家蔵
11	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:ERIKO	2001年	発色現像方式印画	120.0×180.0	作家蔵
12	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:MINEKO	2002年	発色現像方式印画	87.5×120.0	高松市美術館
13	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:GEISHA (AKIYO/MAI/HITOMI/NORIKO)	2002年	発色現像方式印画	180.0×240.0	作家蔵
14	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:SHIZUKA	2004年	発色現像方式印画	140.0×100.0	作家蔵
15	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:KAHORI	2004年	発色現像方式印画	64.0×80.0	作家蔵
16	やなぎみわ	マイ・グランドマザーズ:MITSUMI	2009年	発色現像方式印画	130.0×130.0	作家蔵
17	やなぎみわ	ララバイ	2010年	ビデオ・インスタレーション	13分16秒	作家蔵
18	やなぎみわ	フェアリー・テール:無題 I	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	140.0×100.0	作家蔵
19	やなぎみわ	フェアリー・テール:無題 II	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	140.0×100.0	アーツ前橋
20	やなぎみわ	フェアリー・テール:赤ずきん	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
21	やなぎみわ	フェアリー・テール:グレーテル	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
22	やなぎみわ	フェアリー・テール:白雪	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
23	やなぎみわ	フェアリー・テール:眠り姫	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
24	やなぎみわ	フェアリー・テール:ラプンツェル	2004年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
25	やなぎみわ	フェアリー・テール:トルーデおばさん	2005年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
26	やなぎみわ	フェアリー・テール:マッチ売りの少女	2005年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
27	やなぎみわ	フェアリー・テール:無題 0-B	2006年	ゼラチン・シルバー・プリント	140.0×100.0	作家蔵
28	やなぎみわ	フェアリー・テール:エレンディラII	2006年	ゼラチン・シルバー・プリント	100.0×100.0	作家蔵
29	やなぎみわ	演劇アーカイブ:1924(三部作:Tokyo-Berlin、海戦、人間機械)	2011-2012年			作家蔵
30	やなぎみわ	演劇アーカイブ:パノラマ	2012-2014年			作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
31	やなぎみわ	演劇アーカイブ:ゼロ・アワー:東京ローズ最後のテープ	2013-2015年			作家蔵
32	やなぎみわ	演劇アーカイブ:日輪の翼	2016年～			作家蔵
33	やなぎみわ	無題I	2015年	リトグラフ	32.0×26.5	作家蔵
34	やなぎみわ	無題II	2015年	リトグラフ	53.5×43.0	作家蔵
35	やなぎみわ	女神と男神が桃の木の下で別れる:川中島I, II, III	2016年	発色現像方式印画	各160.0×285.0	作家蔵
36	やなぎみわ	女神と男神が桃の木の下で別れる:あかつきI, II, III	2017年	発色現像方式印画	各160.0×285.0	作家蔵
37	やなぎみわ	女神と男神が桃の木の下で別れる:まどかI, II, III	2017年	発色現像方式印画	各160.0×285.0	作家蔵
38	やなぎみわ	女神と男神が桃の木の下で別れる:きららI, II, III	2018年	発色現像方式印画	各160.0×285.0	作家蔵
39	やなぎみわ	桃を投げる	2018年	ビデオ・インスタレーション	6分52秒	作家蔵
40	やなぎみわ	神話機械:ムネメー(投擲マシーン)	2018年	製作:福島県立福島工業高校	280.0×780.0×195.0	被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会蔵
41	やなぎみわ	神話機械:タレイア(メインマシン)	2018年	製作:京都工芸繊維大学ROBOCON挑戦プロジェクト 音楽:内橋 和久 声の出演:高山 のえみ 音響:高田 文尋(ソルサウンドサービス) 照明デザイン:藤本 隆行(Kinsei R&D)	78.0×120.0×120.0	作家蔵
42	やなぎみわ	神話機械:メルポメネー(のたうちマシン)	2018年	製作:群馬工業高等専門学校機械工学科ロボット工学研究室	胴体:Φ15×90 腕:Φ12.5×59 脚46×64.5×16.5	作家蔵
43	やなぎみわ	神話機械:テルプシコラー(振動マシン)	2018年	製作:香川高等専門学校機械電子工学科逸見研究室		作家蔵
44	やなぎみわ	アルゴ-船の船首像	2019年	デジタルプリント	175.0×250.0	作家蔵
45	やなぎみわ	IZANAMI	2018年	木炭、紙	50.0×64.0	作家蔵
46	やなぎみわ	神話機械のためのドローイング	2018年	木炭、紙	50.0×64.0	作家蔵
47	やなぎみわ	神話機械のためのドローイング	2018年	木炭、紙	48.0×35.0	作家蔵
48	やなぎみわ	神話機械のためのドローイング	2018年	クレヨン、紙	20.0×40.5	作家蔵
49	やなぎみわ	命名	2019年	合成樹脂、鉛筆	15.0×15.0×17.0	作家蔵
50		『MM』公演ダイジェスト映像	2019年	ビデオ	1分23秒	作家蔵

Art Meets 06 門馬美喜 | やんツー

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
1	門馬美喜	千年前の川を渡る馬	2017/2019年	墨、和紙、パネル	可変	作家蔵
2~22	門馬美喜	Route/98ヶ月 相馬—東京—横浜				
2	門馬美喜	Route/98ヶ月	2019年	インスタレーション、紙、木材、家具、墨、和紙、油彩・カンヴァス、アクリル・カンヴァス、その他画材	可変	作家蔵
3	門馬美喜	電車が通れない線路側だけに待合室があるホーム	2016年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	作家蔵
4	門馬美喜	山元町役場と仮設のJR駅	2016年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	作家蔵
5	門馬美喜	国道六号線と上に建てられた新しい橋	2016年	油彩、カンヴァス	80.3×100.0	作家蔵
6	門馬美喜	作りかけの橋 太平洋側	2016-2017年	油彩、カンヴァス	91.0×72.7	作家蔵
7	門馬美喜	JR新地駅手前からの風景01	2017・2019年	油彩、カンヴァス	130.3×97.0	作家蔵
8	門馬美喜	JR駒ヶ嶺駅と東北電力会社火力発電所	2016年	油彩、カンヴァス	91.0×72.7	作家蔵
9	門馬美喜	JR常磐線、防風林がないので遠くからでも海岸が見える	2016年	油彩、カンヴァス	194.0×162.0	作家蔵
10	門馬美喜	JR新地駅手前からの風景03	2018年	油彩、カンヴァス	606.0×455.0	作家蔵
11	門馬美喜	高速道路わきにグリーンのカバーとフレコンバッグが整然と並ぶ	2015年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	作家蔵
12	門馬美喜	塀の向こうにあるもの	2017年	油彩、カンヴァス	80.3×100.0	作家蔵
13	門馬美喜	帰還困難区域 01	2016年	油彩、カンヴァス	91.0×72.7	作家蔵
14	門馬美喜	帰還困難区域 02	2016年	油彩、カンヴァス	194.0×162.0	作家蔵
15	門馬美喜	作られたばかりの高速道路	2015-2016年	油彩、カンヴァス	72.7×91.0	作家蔵
16	門馬美喜	常磐自動車道で北上していく	2017年	油彩、カンヴァス	80.3×100.0	作家蔵
17	門馬美喜	並木から田んぼが見える関東風景	2016年	油彩、カンヴァス	72.7×91.0	作家蔵
18	門馬美喜	有楽町駅前、鍛冶橋駐車場の近く	2017年	油彩、カンヴァス	72.7×91.0	作家蔵
19	門馬美喜	相馬共同火力発電所	2019年	アクリル、板 3枚	90.0×180.0	作家蔵
20	門馬美喜	原町火力発電所	2019年	アクリル、板 3枚	90.0×180.0	作家蔵
21	門馬美喜	品川火力発電所	2019年	アクリル、板 3枚	90.0×180.0	作家蔵
22	門馬美喜	横浜火力発電所	2019年	アクリル、板 3枚	90.0×180.0	作家蔵
23	やんツー	組み石菅の例	2016年	制作協力(デッサン):佐井 紗都美	可変	やんツー
24	やんツー	写真測量法による3DCGの例	2016年	制作協力(デッサン):佐井 紗都美	可変	やんツー
25	やんツー	写真測量法による3DCGのデッサンの例	2016年	制作協力(デッサン):佐井 紗都美	可変	やんツー
26-1	やんツー	鑑賞から逃れる—夢	2019年	制作協力:稲福 孝信(株式会社HAUS)	可変	やんツー
26-2	やんツー	鑑賞から逃れる—混沌	2019年	制作協力:稲福 孝信(株式会社HAUS)	可変	やんツー
26-3	やんツー	鑑賞から逃れる—菩薩	2019年	制作協力:稲福 孝信(株式会社HAUS)	可変	やんツー

山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX 未来を考えるための教室

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	深谷徹	花(くちなし)	制作年不詳	油彩、カンヴァス	45.5×38.0	アーツ前橋
2	八木淳一郎	富士山	制作年不詳	油彩、カンヴァス	97.0×145.5	アーツ前橋
3		「この絵はなんでここにある？」	2019年	映像 企画・撮影:山本高之	3分30秒	
4	高橋常雄	山	1954年	紙本彩色	152.8×171.7	アーツ前橋
5	中村節也	弾琴	1966年	油彩、カンヴァス	97.4×194.4	アーツ前橋
6	南城一夫	描く人(自画像)	1968年	油彩、カンヴァス	88.5×108.0	アーツ前橋
7	清水刀根	牛と子供	1961年	油彩、カンヴァス	130.4×162.0	アーツ前橋
8	横堀角次郎	代々木風景	1920年頃	油彩、カンヴァス	45.4×33.7	アーツ前橋
9	深谷徹	とりかごのある静物	1952年	油彩、カンヴァス	131.0×130.5	アーツ前橋
10	福田紹太郎	南の祭り	1946年	油彩、カンヴァス	91.0×117.0	アーツ前橋
11	近藤嘉男	作品B	1949年	油彩、カンヴァス	130.0×162.0	アーツ前橋
12	田村清男	池凍る	1989年	水彩、紙	97.0×130.4	アーツ前橋
13	倉田角次	朝もやの富士	1995年	油彩、カンヴァス	130.2×162.0	アーツ前橋
14	駅家の木馬祭り実行委員会	駅家の木馬祭り	2019年	映像ほか 協力:駅家の木馬祭り実行委員会	2分55秒	駅家の木馬祭り実行委員会
15		アーツナビゲーター/おしゃべりアートデイズ	2019年	パネル 協力:アーツナビゲーター		
16	南橋団地の子どもたち	WS ってなに?	2019年	DVD		
17	中島祐太 × 南橋団地	桃川小学校 AIS プログラム ダイジェスト版	2019年	映像(撮影・編集:岡安賢一)	15分21秒	
18	中島祐太	ワークショップ映像「美術館ってなに？」	2019年	映像(撮影・編集:岡安賢一)	10分10秒	
19	田村清男	桃木川冬景	1981年	水彩・紙	60.8×72.7	アーツ前橋
20	近藤嘉男	足尾風景	1950年	水彩・紙	50.3×35.5	アーツ前橋
21		未来のサポーター像 / 活動紹介	2019年	映像 協力:アーツ前橋サポーター	3分	
22		あの夏、いちばん静かな海	2019年	映像 企画・撮影:山本高之、撮影・編集:岡安賢一	10分18秒	
23	山本高之	おはしも	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
24	山本高之	大前橋帝國横断幕	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
25	山本高之	ヘビとムカデのたたかい	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	制作協力: アーツ前橋 サポーター
26	山本高之	ムカデサーフ	2019年	映像	32秒	作家蔵
27	山本高之	サーフボード(ボンザー)	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
28	山本高之	市議会議員のポートレート	2019年	映像	5分41秒	作家蔵
29	山本高之	ベルトコンベアー	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
30	山本高之	ヘッドギア	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
31	山本高之	玉座	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
32	山本高之	3歳児までのヌードデッサン	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
33	山本高之	一番大切なもの	2019年	ミクストメディア	インスタレーション	作家蔵
34	山本高之	サイレントコメディ	2019年	映像	17分16秒	作家蔵

表現の生態系 世界との関係をつくりかえる

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	アンナ・ヴィット	ケア	2017年	映像	17分28秒	アーツ前橋
2	長重之、西沢彰	対話	2014年	アクリル絵具、鉛筆、和紙	62.0×90.0	
3	長重之、西沢彰	対話・樺崎	2014年	カンヴァス、アクリル絵具、紙	112.0×162.0	
4	長重之、西沢彰	対話 No.2	2014年	アクリル絵具、鉛筆、和紙	60.0×90.0	
5	長重之、西沢彰	対話	2014年	アクリル、鉛筆、和紙	51.0×36.0	
6	地主麻衣子	わたしたちは(死んだら)どこへ行くのか 第1章 東京の墓地	2019年	映像	18分3秒	作家蔵
7	地主麻衣子	わたしたちは(死んだら)どこへ行くのか 第2章 うちの墓参り	2019年	映像	12分29秒	作家蔵
8	地主麻衣子	わたしたちは(死んだら)どこへ行くのか 第3章 モスクと前衛芸術家	2019年	映像	20分27秒	作家蔵
9	地主麻衣子	わたしたちは(死んだら)どこへ行くのか 第4章 彼岸花	2019年	映像	7分17秒	作家蔵
10	地主麻衣子	わたしたちは(死んだら)どこへ行くのか 第5章 名前のない骨	2019年	映像	36分33秒	作家蔵
11	あかたちかこ、ハレルワ	パレードに出かけよう	2019年	紙、ペン、布、アクリル絵具、映像(映像撮影・編集:岡安賢一)	8分16秒	
12	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ	人魚の脱皮	2019年	ミクストメディア	可変	作家蔵
13	山田創平	言語空間としての棲名山東南麓	2019年	映像など	可変	作家蔵
14	川瀬慈	春駒 群馬県川場村門前地区のまつり	2013年	映像	15分47秒	作家蔵
15	川瀬慈	ラリバロッチャー—終わらなき祝福を生きる—	2005年	映像(撮影:川瀬慈、ジャマル・モハメッド)	30分2秒	作家蔵

NO.	作家名/編集者名	作品名	制作年/発行年	技法・材質	寸法 (縦×横・cm)	所蔵
16	アンリ・ミショー	作品	1974年	リトグラフ、紙	22.0×9.0	個人蔵
17	アンリ・ミショー	無題	制作年不詳	リトグラフ、紙	25.0×21.0	個人蔵
18	アンリ・ミショー	無題	1967年	リトグラフ、紙	25.0×21.0	個人蔵
19	ジャン・デュビュッフェ	不安な土(地質学シリーズ)	1959年	リトグラフ、紙	52.5×39.0	アーツ前橋寄託 個人蔵
20	ジャン・デュビュッフェ	思い出の壁 II	1950年	リトグラフ、紙	48.0×41.0	アーツ前橋寄託 個人蔵
21	ジャン・デュビュッフェ	物質と記憶	1944年	リトグラフ、紙	26.0×19.5	アーツ前橋寄託 個人蔵
22	ヴィフレド・ラム	黒い海つばめ IV	1972年	カラーエッチング、紙	23.5×18.4	アーツ前橋寄託 個人蔵
23	ヴィフレド・ラム	黒い海つばめ V	1972年	カラーエッチング、紙	23.8×18.4	アーツ前橋寄託 個人蔵
24	ヴィフレド・ラム	黒い海つばめ II	1972年	カラーエッチング、紙	23.5×8.5	アーツ前橋寄託 個人蔵
25	糸井潤	(境界線—赤城山)シリーズより	2019年	アーカイバル・ピグメント・プリント	47.5×71.3(10点)	作家蔵
26	糸井潤	(トポロジー)シリーズより	2015年/2019年	アーカイバル・ピグメント・プリント	200.0×249.0/108.0×133.0(3点組み)	作家蔵
27	糸井潤	(トポロジー—レンティエラ村)シリーズより	2018年/2019年	アーカイバル・ピグメント・プリント	36.0×45.0(1点)/44.0×55.0 (2点)/56.0×70.0(9点)	作家蔵
28	中村裕太	ゲテモノかハイカラか	2019年	陶、泥、竹、木、紙、他	サイズ可変	作家蔵
29	中村裕太	群馬工芸の生態系	2019年	ミクストメディア	サイズ可変	作家蔵
30	ブルーノ・タウト	ブローチデッサン	1934年	鉛筆、色鉛筆、紙	28.8×21.8	群馬県立歴史博物館
31	ブルーノ・タウト	エッグスタンドデッサン	1934年	鉛筆、色鉛筆、紙	28.8×21.8	群馬県立歴史博物館
32	ブルーノ・タウト	コンパクトデッサン	1934年	水彩、鉛筆、紙	32.3×24.0	群馬県立歴史博物館
33	ブルーノ・タウト	手紙差しデッサン	1934年	鉛筆、色鉛筆、紙	28.8×21.8	群馬県立歴史博物館
34	ブルーノ・タウト	蚊帳立てデッサン	1935年	鉛筆、紙	22.2×18.7	群馬県立歴史博物館
35	ブルーノ・タウト	メロンバスケットデッサン	1935年	水彩、鉛筆、色鉛筆、紙	36.4×27.6	群馬県立歴史博物館
36	東宮稔	無題(抽象画)	1948-1962年	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	個人蔵
37	東宮稔	ままごと道具	1949-1962年	木、着彩	4.0×7.0×6.0、1.5×2.5×2.5、他	個人蔵
38	東宮稔	輪投げ	1949-1962年	木、着彩	25.0×Φ10.5	個人蔵
39	東宮稔	ハンバーガープレス	1949-1962年	木、着彩	3.0×Φ14.5	個人蔵
40	東宮稔	糸巻き	1949-1962年	木	15.5×Φ4.0	個人蔵
41	東宮稔	ペンシルホルダー	1949-1962年	木、着彩	13.5×Φ1.3	個人蔵
42	東宮稔	動物玩具	1949-1962年	木、着彩	各6.5×7.5×5.0、各7.5×7.0×4.0	個人蔵
43	オノサト・トシノブ	3つの丸	1958年	油彩、カンヴァス	22.8×25.8	大川美術館寄託
44	オノサト・トシノブ	紙ばり	1940年	墨、板、紙	100.5×72.8	大川美術館寄託
45	尾花賢一+石倉敏明	赤城山リミナリティ	2019年	ワトソン紙、インク、ジェルトン	可変	作家蔵
46	尾花賢一+石倉敏明	風男	2019年	ジェルトン、アクリル絵具、胡粉、鉛筆	可変	作家蔵
47	尾花賢一+石倉敏明	1981	2019年	ジェルトン、油彩	50.0×80.0×22.0	作家蔵
48	白川昌生	赤城龍神	1996-98年	墨、アクリル絵具、硫黄、塩、銀粉、百合、 鳥の羽根、ビニール	95.0×186.0	作家蔵
49	岡本天明	疎林図	1942年頃	紙本墨書、淡彩	150.0×150.0 二曲一隻	櫻井みずゝ氏蔵
50	出口なお	お筆先	1904年	紙本墨書	48.5×52.0	個人蔵
51	出口王仁三郎	瑞月窯 耀盤 銘 萬代	1944-1945年頃	陶	8.0×Φ10.0	個人蔵
52	出口王仁三郎	瑞月窯 耀盤 銘 蓬莱山	1944-1945年頃	陶	7.0×Φ12.0	個人蔵
53	出口王仁三郎	瑞月窯 耀盤 銘 富貴	1944-1945年頃	陶	8.0×Φ11.0	個人蔵
54	出口王仁三郎	耀盤 銘 寿福	1944-1945年頃	陶	5.0×Φ8.5	個人蔵
55	出口王仁三郎	山溪に鴉	1918年頃	紙本墨書	131.0×33.0	個人蔵
56	出口王仁三郎	だるまぞう	1926-1948年	紙本墨書	111.0×40.0	個人蔵
57	出口王仁三郎	神代文字 あめのみはしら くのにみはしら	1919年頃	紙本墨書	152.0×29.2	個人蔵
58		『甦る出口王仁三郎[昭和の七福神]』	2009年	映像(企画:霊界物語刊行会、制作・ 著作:八幡書店、発行:(株)八幡書店)	40分	
59	成瀬杏子	佐葦姫像	1992年	パステル、紙	68.7×48.7	さすら
60	金井南龍	龍宮の花火	1969年	油彩、カンヴァス	116.5×72.5	さすら
61	金井南龍	高千穂と山王龍	1969年	油彩、カンヴァス	130.0×162.2	さすら 足利市立美術館寄託
62	金井南龍	秋の彼岸の中日に七面山より富士山頂か らの御来光を仰ぐ	1987年	油彩、カンヴァス	130.0×162.2	さすら 足利市立美術館寄託
63	金井南龍	富士諏訪木曾御嶽のウケヒ	1986年	油彩、カンヴァス	130.0×162.2	さすら 足利市立美術館寄託
64	松澤有	パフォーマンス《天の空に向けて雨の心 臓を飛ばす》	1971年	写真	42.5×29.7	個人蔵
65	松澤有	私の死(時間の中)にのみ存在する絵画	1997年	写真	42.5×29.7	個人蔵
66	松澤有	泉水入瞑想台	1971年	写真	42.5×29.7	個人蔵
67	松澤有	ブサイ(Ⅱ)の絵画	1963年	水彩、クレヨン、紙	35.0×23.5	群馬県立近代美 術館寄託
68	松澤有	ブサイ(Ⅱ)の絵画	1963年頃	水彩、クレパス、紙	78.0×68.5	群馬県立近代美 術館寄託

NO.	作家名／編集者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
69	松澤宥	ブサイ(Ψ)の絵画	1963年頃	水彩、クレパス、紙	63.0×94.0	群馬県立近代美術館寄託
70	松澤宥	白色円形根本絵画	1964年頃	シルクスクリーン、紙	36.7×28.0	群馬県立近代美術館寄託
71	松澤宥	1964年6月4日以前以後のオブジェよ	1993年	鉄、ガラス、紙、木箱	25.5×18.8×6.5	群馬県立近代美術館寄託
72	松澤宥	ブサイ函	1970年	本	22.0×16.5	群馬県立近代美術館寄託
73	松澤宥	1964年6月4日以前以後のオブジェよ	1993年	煙草、木片、紙、木箱	25.5×18.8×6.5	群馬県立近代美術館寄託
74	ヨーゼフ・ボイス	民主的銀行の構想図	1979年	鉛筆、紙	21.0×29.0 (2組)	個人蔵
75	ヨーゼフ・ボイス	硫黄、水銀、塩	1984年	鉛筆、紙	19.0×14.5	松本夏樹氏蔵
76	ヨーゼフ・ボイス	フェルトスーツ	1970年	フェルト製のスーツ、スタンプ押印	170.0×60.0	フォーエバー現代美術館
77	ヨーゼフ・ボイス	ユーラシアの杖	1968年	映像	23分13秒	
78	ヨーゼフ・ボイス	7000本の櫛の木: 告示書	1982年/84年	リトグラフ、金箔	29.6×21.0	フォーエバー現代美術館
79	ヨーゼフ・ボイス	7000本の櫛の木-1	1983年	オフセット	42.0×60.0	フォーエバー現代美術館
80	イクムラレイコ	メメント・モリ III	2012年	テラコッタ、釉薬	15.0×45.3×19.5	作家蔵
81	イクムラレイコ	メメント・モリ I	2012年	テラコッタ、釉薬	30.0×130.0×40.5	作家蔵
82	イクムラレイコ	ほねのはな	2012年	セラミック	2.5×56.0×4.5	作家蔵
83	イクムラレイコ	無題	1990年	木炭、クレヨン、紙	42.0×30.0	シュウゴアーツ
84	イクムラレイコ	無題	1990年	木炭、クレヨン、紙	42.0×30.0	シュウゴアーツ
85	イクムラレイコ	無題	1985年	エッチング	32.0×25.0	シュウゴアーツ
86	イクムラレイコ	島の女 #3	2008年	パステル、紙	42.0×30.0	作家蔵
87	イクムラレイコ	島の女 #8	2008年	パステル、紙	42.0×30.0	作家蔵
88	イクムラレイコ	オトコイエ	1990年	セラミック	27.5×26.5×22.5	シュウゴアーツ
89	イクムラレイコ	オンナイエ	1990年	テラコッタ、釉薬	21.5×21.0×22.5	シュウゴアーツ
90	鴻池朋子	Dream Hunting Grounds	2018年	シナベニヤ、水彩、毛皮、ミクストメディア	可変	
91	作者不詳	絹神様	年代不詳	木、彩色	23.9×11.2×8.5	石井晃英氏蔵 下仁田町歴史館寄託
92	三輪途道	棒使い阿形	2012年	檜、漆、彩色、しゃくま毛	25.0×26.0×18.0	高崎市箕郷町諏訪神社獅子舞保存会
93	三輪途道	棒使い吽形	2012年	檜、漆、彩色、しゃくま毛	22.0×24.0×19.5	高崎市箕郷町諏訪神社獅子舞保存会
94	三輪途道	ささら振り	2012年	檜、漆、彩色、しゃくま毛	24.0×21.0×18.5	高崎市箕郷町諏訪神社獅子舞保存会
95	三輪途道	大黒天	2012年	檜、漆、白土、彩色	21.0×23.0×16.5	高崎市箕郷町諏訪神社獅子舞保存会
96	三輪途道	社の番猫	2017年	檜、漆、白土、彩色	41.0×32.0×71.5	ガレリアボンテ蔵
97	三輪途道	回転鮫もありです	2017年	檜、漆、白土、彩色	40.0×28.5×50.5	作家蔵
98	三輪途道	八幡神社の次郎坊	2017年	檜、漆、白土、彩色	29.0×27.5×55.0	作家蔵
99	三輪途道	目指すは大間のまぐろ	2017年	檜、漆、白土、彩色	28.5×18.5×62.5	作家蔵
100	石坂玄士+山賀ざくろ+えいめい、じゃんけんぼん	表現の森プロジェクト 音の玉手箱	2016-2019年	映像 協力:社会福祉法人清水の会えいめい、特定NPO法人じゃんけんぼん、撮影・編集:岡安 賢一、コーディネーター:小田久美子、木村 祐子	5分30秒/6分54秒	
101	滝沢達史+アリスの広場	表現の森プロジェクト	2016-2019年	テーブル、ポスターなど 協力:NPO法人ぐんま若者応援ネットアリスの広場、コーディネーター:天羽絵莉子	可変	
102	高山明/Port B+あかつきの村	表現の森プロジェクト 続・前橋聖務日課—あかつきの村ウォーク	2019年	MAP協力:社会福祉法人フランシスコの会あかつきの村、コーディネーター:福西敏宏 デザイン:寺澤由樹	可変	
103	廣瀬智央+後藤朋美+のぞみの家	表現の森プロジェクト タイムカプセルプロジェクト2016-2035	2016-2019年	年表など 協力:社会福祉法人上毛愛隣社のぞみの家、コーディネーター:小田久美子	可変	

前橋の美術2020 トナリのビジュッ

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	Abe M ^o ARIA	トナリのビジュッー 境界で踊る。	2020年	パフォーマンス (2月9日、2月22日、3月14日)		
2	有村真織	残されたものII	1991年	油彩、カンヴァス	112.0×146.0	作家蔵
3	有村真織	三位一体 (君はヒロシマを見たか) より	1994年	油彩、カンヴァス	145.5×112.1 2点	作家蔵
4	井田秋雄	瓦解図	2019年	アクリル、アート紙	100.0×146.0	作家蔵
5	糸井千恵美	自らの座標ー今	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
6	糸井千恵美	自らの座標ーゼロポイント	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
7	糸井千恵美	自らの座標ー真 (しん)	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
8	糸井千恵美	自らの座標ー真 (まこと)	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
9	糸井千恵美	自らの座標ー純粋	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
10	糸井千恵美	自らの座標ー中庸	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
11	糸井千恵美	自らの座標ー無	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
12	糸井千恵美	自らの座標ー感謝	2020年	銅版画によるカラーズ	30.0×20.0	作家蔵
13	今井充俊	かたり得ぬモノ	2019年	ミックストメディア・パネル	194.0×518.0	作家蔵
14	今井ひさ子	マングローブの島	2017年	ろうけつ染 ろう、布、染料、パネル	130.0×90.0	作家蔵
15	今井ひさ子	マングローブのフォルムII	2017年	ろうけつ染 ろう、布、染料、パネル	130.0×90.0	作家蔵
16	今井ひさ子	マングローブのフォルムIII	2018年	ろうけつ染 ろう、布、染料、パネル	130.0×90.0	作家蔵
17	今井由佳	生活のフォルム	2020年	プラスチック、他	380.0×1180.0×20.0	作家蔵
18	内田望美	触れ得ぬと知りながら、願わずにはいられなかった。	2019-2020年	チョコレート、あなたと私の体温	サイズ可変	作家蔵
19	遠藤夏香	女の三世代ノローカルフード	2019年	ドローイングを中心としたインスタレーション (紙、アクリル絵の具、コンテ、ペン、ペニヤ等)	サイズ可変	作家蔵
20	大島康幸	FAKE FURー imagine chairー	2004年	木彫 桶、古い椅子、アクリル	67.0×36.0×47.0	作家蔵
21	大島康幸	FAKE FURー P.leoー “individual” 2017	2017年	木彫 桶、銅、アクリル	164.0×50.0×60.0	作家蔵
22	大島康幸	FAKE FUR extra No.2	2018年	木彫 桶、墨、アクリル	13.5×2.0×2.0	作家蔵
23	大島康幸	FAKE FUR extra No.3	2018年	木彫 桶、墨、アクリル	11.0×3.5×3.0	作家蔵
24	大島康幸	FAKE FUR extraー C.porosusー “King’s Banquet” 2019	2019年	木彫 桶、墨、胡粉、膠、アクリル	295.0×245.0×23.0	作家蔵
25	大島康幸	FAKE FUR extraー P.T.hybridー “King’s Banquet” 2019	2019年	木彫 桶、墨、胡粉、膠、アクリル	178.0×58.0×60.0	作家蔵
26	大島康幸	FAKE FUR extraー E.murinusー “King’s Banquet” 2020	2020年	木彫 桶、樟、ラワン、梅、墨、胡粉、膠、アクリル	120.0×160.0×30.0	作家蔵
27	岡田歩	水のカタチ	2010年	アクリル・段ボール	58.0×52.0	作家蔵
28	岡田歩	無題	2015年	アクリル・木製パネル	195.0×95.0	作家蔵
29	岡田歩	無題	2018年	アクリル・カンヴァス	53.0×65.0	作家蔵
30	岡田歩	無題	2018年	アクリル・カンヴァス	53.0×65.0	作家蔵
31	岡田歩	無題	2018年	アクリル・カンヴァス	53.0×65.0	作家蔵
32	岡田歩	無題	2018年	アクリル・木製パネル	54.5×65.0	作家蔵
33	岡田歩	無題	2018年	アクリル・カンヴァス	61.0×73.0	作家蔵
34	岡田歩	無題	制作年不詳	アクリル・木製パネル	94.0×92.5	作家蔵
35	小野田賢三	Butterflies, zebras, moonbeams and fairy tales.	2005年、 2019年アップデート	Apple computer・モニター・ MAX プログラミング言語 赤いガラス玉	60.0×60.0×60.0	作家蔵
36	金井訓志	はな (tulip)	2019年	パネル、綿布、下地材 (μ-グラウンド)、アルキド絵具	194.0×488.0	作家蔵
37	カナイサワコ	Reverse River	2019年	ミックストメディア	可変	作家蔵
38	木村真由美	カラ 20180321 #1	2019年	シルクスクリーン・和紙	18.0×18.0	作家蔵
39	木村真由美	カラ 20160203	2019年	シルクスクリーン・和紙	91.0×91.0	作家蔵
40	木村真由美	カラ 20160826	2019年	シルクスクリーン・和紙	91.0×91.0	作家蔵
41	木村真由美	カラ 20180318 #2	2020年	シルクスクリーン・和紙	18.0×18.0	作家蔵
42	木村真由美	カラ 20160104 #1	2020年	シルクスクリーン・和紙	18.0×18.0	作家蔵
43	木村真由美	カラ 20160713 (ノボリ) #2	2020年	シルクスクリーン・和紙	18.0×18.0	作家蔵
44	木村真由美	カラ 20160913 #2	2020年	シルクスクリーン・和紙	18.0×18.0	作家蔵
45	木村真由美	カラ 20161223	2020年	シルクスクリーン・和紙	91.0×91.0	作家蔵
46	木村真由美	カラ 20160801	2020年	シルクスクリーン・和紙	38.0×45.5	作家蔵
47	木村真由美	カラ 20160627	2020年	シルクスクリーン・和紙	45.5×38.0	作家蔵
48	木村真由美	カラ 20160826(L)	2020年	シルクスクリーン・和紙	45.5×38.0	作家蔵
49	木村真由美	カラ 20160826(R)	2020年	シルクスクリーン・和紙	45.5×38.0	作家蔵
50	木村真由美	カラ 20160321	2020年	シルクスクリーン・和紙	38.0×45.5	作家蔵
51	小泉明朗	Inder Kommen Sie/ It’s a Comedy	2012年	ビデオインスタレーション	25分	作家蔵
52	後藤朋美	untitled	2020年	繭糸、ガラス、アクリル	可変	作家蔵
53	後藤朋美	2回目のはじめて	2020年	髪の毛、自ら製塩した海塩、植物、ミックスト メディア 協力 株式会社タナック	可変	作家蔵
54	酒井重良	記憶のユニットII	2019-2020年	混合技法 (ペーパーワーク、ステンシル、カラーズ)、素材:和紙、 顔料、墨、塗料、寒紗、発泡スチロール、木材、その他	91.0×73.0×10.0 15点 104.0×90.0	作家蔵
55	坂本敏	まちを過ぐる季節ーhanaー	2020年	パネル・アクリル	104.0×90.0	作家蔵
56	坂本敏	まちを過ぐる季節ーyouー	2020年	パネル・アクリル	104.0×90.0	作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
57	坂本敏	まちを過ぐる季節—sora—	2020年	パネル・アクリル	104.0×90.0	作家蔵
58	坂本敏	まちを過ぐる季節—kaze—	2020年	パネル・アクリル	112.0×167.0	作家蔵
59	志村真悠	あかぎ	2019年	インクジェットプリント、水彩	74.0×20.0×150.0	作家蔵
60	下山直紀	A Study in instinct	2019年	樟、楠、水晶、彩色	45.0×45.0×135.0	作家蔵
61	杉本篤	こちらから、そちらから。	2020年	立体:ポリカーボネート、LED、板 映像:プロジェクター、スピーカー、板	映像:2分7秒 280.0×300.0×400.0	作家蔵
62	関口光太郎	王様 (2020remix)	2012、2020年	新聞紙、ガムテープ、木材、針金	可変 A1サイズ 4枚点 他	作家蔵
63	反町潤	Emotions	2019年	写真 (パネル加工)、紙等	37.0×59.0	作家蔵
64	多胡宏	記憶の中で	2017年	凹版画 (メゾチント) 和紙・インク	37.0×59.0	作家蔵
65	多胡宏	惑星にて	2019年	凹版画 (メゾチント) 和紙・インク	59.0×22.0	作家蔵
66	多胡宏	水底にて・涌き立つ時間	2019年	凹版画 (メゾチント) 和紙・インク	59.0×22.0	作家蔵
67	多胡宏	水底にて・涌き立つ思い	2019年	凹版画 (メゾチント) 和紙・インク	104.5×165.0	作家蔵
68	田中正	奴等の思惑	2005年	ミックスメディア	110.0×145.0	作家蔵
69	田中正	居酒屋「きさく」へのオマージュ	2018年	ボールペン、色鉛筆、水彩	92.5×98.0	作家蔵
70	田中正	季節の交換	2020年	ペン・色鉛筆	メガネ 4.0×16.0×17.0 16本	作家蔵
71	手島彰	JINS [Combination Titanium by Akira Teshima]	販売年:2019年 開発年:2017-2018年	メガネ:チタン、カーボン、アセテート、カーボンナノチューブ 入り高弾性TR-90 展示仕様:アクリル、カーボン、木、金属	展示仕様:119.0×77.0×43.0 125.0×45.0×50.0	作家蔵
72	富田文隆	昂揚VII	2015年	樺材、摺り漆	300.0×45.0×50.0	作家蔵
73	富田文隆	化身 (飛来神)	2020年	桑材、ふき漆	28.0×33.5	作家蔵
74	中島涼介	つくられた漢字	2001年	ボールペン・ボール紙	28.5×33.0	作家蔵
75	中島涼介	つくられた漢字 ①	2009年	ボールペン・ボール紙	28.0×33.5	作家蔵
76	中島涼介	つくられた漢字 ②	2009年	ボールペン・ボール紙	28.0×33.0	作家蔵
77	中島涼介	鶴橋 (つるはし) 1	2008年	ボールペン、紙	28.0×33.5	作家蔵
78	中島涼介	鶴橋 (つるはし) 2	2009年	ボールペン・ボール紙	27.0×33.5	作家蔵
79	中島涼介	ビル、学校	2009年	ボールペン・ボール紙・セロテープ	28.0×34.0	作家蔵
80	中島涼介	文字の国	2009年	ボールペン・ボール紙	28.0×33.5	作家蔵
81	中島涼介	無題	2006年	ボールペン・紙	30.5×44.0	作家蔵
82	中島涼介	無題	2006年	ボールペン・ボール紙	28.0×33.5	作家蔵
83	中島涼介	無題	2010年	ボールペン・ボール紙	28.5×34.0	作家蔵
84	中島涼介	無題	2019年	ボールペン・ボール紙	72.0×55.0	作家蔵
85	中島涼介	無題	制作年不詳	ボールペン・ボール紙	45.0×75.0×5.0	作家蔵
86	長瀬正太	Baby bird garden #1 第63回前橋花火大会 2019/08/10, 19:48:24	2020年	ゼラチンシルバークラウドプリント、フラッシュマウント	75.0×38.0×5.0	作家蔵
87	長瀬正太	Baby bird garden #2 第63回前橋花火大会 2019/08/10, 19:27:30	2020年	ゼラチンシルバークラウドプリント、フラッシュマウント	37.0×75.0×5.0	作家蔵
88	長瀬正太	Baby bird garden #3 第63回前橋花火大会 2019/08/10, 19:49:11	2020年	ゼラチンシルバークラウドプリント、フラッシュマウント	250.0×369.0×147.0	作家蔵
89	長竹真典	意識の修正のきっかけ:モバイルハウス	2019年	木工 木材、軽トラック、その他	250.0×500.0×250.0	作家蔵
90	中村敬太郎	生と死	2020年	オブジェ 木材、炭、自然石	280.0×360.0×270.0	作家蔵
91	ニヤムコム天笠恵子	おそろいのネグリジェ	2020年	ミックスメディア	インスタレーション (H210.0)	作家蔵
92	林耕史	月が眠る山2020-I MAEBASHI	2020年	木	50.0×190.0×60.0	
93	深須砂里	構—III	2019年	木彫 樺	41.0×32.0	
94	福井諭史	父	2016年	水彩紙・鉛筆	41.0×32.0	
95	福井諭史	妻	2016年	画用紙・鉛筆	41.0×32.0	
96	福井諭史	母	2017年	水彩紙・鉛筆	73.0×91.0	
97	福井諭史	ぼんちゃん	2018-2019年	画用紙・鉛筆	182.0×91.0	
98	福井諭史	下田先生	2019年	画用紙・鉛筆	180.0×360.0	
99	藤原泰佑	前橋市街図	2020年	パネルに和紙、アクリル、顔料、箔、インクジェットプリント	100.0×80.3	
100	堀越吉行	Gaze2	2016年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
101	堀越吉行	Gaze4	2016年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
102	堀越吉行	Gaze5	2016年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
103	堀越吉行	cut3	2017年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
104	堀越吉行	cut4	2017年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
105	堀越吉行	cut5	2017年	アクリル・油彩・キャンバス	91.0×116.7	
106	堀越吉行	Remix3	2018年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
107	堀越吉行	Remix7	2018年	アクリル・油彩・キャンバス	100.0×80.3	
108	堀越吉行	Housing complex	2019年	アクリル・油彩・キャンバス	80.3×100.0	
109	堀越吉行	Paddy field	2019年	アクリル・油彩・キャンバス	500.0×300.0×300.0	
110	Makoto	Codice A.M.	2020年	白い仮面を使ったインスタレーション 仮面の素材:和紙 前橋ゆかりのモデル (マスク):中村ひろみ、北原雄一郎、新井隆人、佐脇寛美、大橋純子、カリグラファー 月子、黒田桂子、大橋慶人、ちざらまりこ	163.0×122.0×107.0	

N0.	作家名	作品名	制作年/プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横・cm)	所蔵
111	三谷慎	曲芸師 GIOCOLIERE	1984年	ブロンズ	163.0×122.0×107.0	
112	村上雅紀	Sculpture of papers 2020	2019-2020年	紙	6.0×30.0×30.0 18点	
113	ヨシダノボル	3rd.Try-Angle	2018年	ギリシャ産蛇紋石、黒御影石、白御影玉石、枯れ枝	90.0×210.0×210.0	

館外展示

114	滝沢達史	まちのほけんしつプロジェクト	2020年		サイズ可変	
115	藤口諒太	正しい日々	2019-2020年	パーカウンター(設計フク)、パーI階にインストールされたパーカウンターにおける5つの対話 参加者:アン、エリ、エリ母、かつや、シユウ、タカ、テツ、フク、ヨシトモ、よんまん		
116	八木隆行	B3 project マエバシモニュメント2	2020年	ミクストメディア パフォーマンス 協力:「場所・T house」プロジェクト実行委員会、マエバシワークス		
117	渡邊辰吾	doors	2020年	2つのドア	218.0×92.0×5.0、	アーツ前橋
	塩原友子	窓辺	1954年	紙本着彩	202.0×87.0×5.0	
	鈴木ストア看板		制作年不詳	木・漆に金箔 製作:博文堂	206.0×139.6	
					Φ105.0	

鈴木ストア展示

118	喜多村徹雄	《竹林》と《満月》—あなたがつくった空間で、あなたが見たかったことについて考えるための、私たちの工夫—	2020年	インスタレーション/田中青坪《竹林》と《満月》、店舗図面、包装紙、什器、テキスト、他 協力:株式会社鈴木ストア	サイズ可変	
		櫛笄	不明	木、漆に螺鈿		鈴木ストア蔵
	田中青坪	竹林	1941頃	絹本彩色		個人蔵
	田中青坪	満月	1942頃	絹本彩色	127.0×41.5	個人蔵
		田中青坪《竹林》の外箱と包装紙(鈴木ストア)	不明		130.0×36.0	鈴木ストア蔵
		田中青坪《満月》の外箱と包装紙(スズキヤ)	不明			鈴木ストア蔵
		鈴木屋小間物店 包装紙	不明			鈴木ストア蔵
		鈴木ストア包装紙(豊時代)	不明			鈴木ストア蔵
		鈴木ストア包装紙(現行版)	不明			鈴木ストア蔵
		スズキヤ小間物店 新聞折り込みチラシ	1937			鈴木ストア蔵
		新聞広告	1954			鈴木ストア蔵
		鈴木ストア店舗外観写真	1976	カラー		鈴木ストア蔵
		鈴木ストア店舗外観写真	1989	カラー		鈴木ストア蔵
		大橋萬平氏とゲン夫人	不明	カラー		個人蔵
		大橋豊氏	不明	カラー		個人蔵
		鈴木ストアギャラリーでの展示風景	不明	白黒		鈴木ストア蔵
		鈴木ストアギャラリーでの展示風景	不明	白黒		鈴木ストア蔵
		年賀状	1961	紙		個人蔵
		年賀状	1963	紙		個人蔵
	前橋土建工業株式会社	鈴木屋デパート改築工事設計図	1954	紙		鈴木ストア蔵
		住宅平面図	1960	紙		個人蔵
	大橋豊	土地取得申請理由書	1960	紙		個人蔵
		鈴木ストアギャラリー	1970-71頃	プラスチック		鈴木ストア蔵
	鈴木ストア	株式会社鈴木ストア 七夕飾り	2019	竹、紙、針金等		鈴木ストア蔵

map 前橋”市民”ギャラリー

	深谷徹	前橋の初市	1958年	油彩・キャンバス		群馬県立図書館蔵
	豊田一男	ドンドン焼き	1958年	油彩・キャンバス	52.0×41.0	群馬県立図書館蔵
	川隅路之助	大光院の豆まき	1958年	油彩・キャンバス	45.5×53.0	群馬県立図書館蔵
	福田貂太郎	津久田人形芝居	1957年	油彩・キャンバス	37.8×45.5	群馬県立図書館蔵
	東海林広	迦葉山縁日	1958年	油彩・キャンバス	45.5×53.0	群馬県立図書館蔵
	島岡実	前橋七夕祭り	1957年	油彩・キャンバス	45.0×37.0	群馬県立図書館蔵
	上毛新聞	群馬の祭関連記事	不明	複写 調査協力:染谷 滋	41.0×31.6	
	上毛新聞	鈴木ストアギャラリー展示関連記事	1954-1970年	複写 調査協力:染谷 滋	23点	
	朝日新聞	鈴木ストアギャラリー展示関連記事	1957年	複写 調査協力:染谷 滋	45点	
	毎日新聞	鈴木ストアギャラリー展示関連記事	1957年	複写 調査協力:染谷 滋	4点	
	阪本英一	「絵でみる群馬の祭り展」	1983年	複写	2点	群馬県立図書館蔵
	庭山政次	「絵でみる群馬の祭り展」群馬の祭り展に寄せて	1983年	複写		群馬県立図書館蔵

関連記事

新聞

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2019/ 4/ 3	東京新聞	ウッドデッキでくつろいで 前橋市と建材メーカーが設置 持ち込みOK 活性化に期待	-	アーツ前橋全般
2019/ 4/12	読売新聞	アーツ前橋前に新ウッドデッキ 市とYKKAP	28	アーツ前橋全般
2019/ 4/12	読売新聞	やなぎみわ展 神話機械	28	やなぎみわ展
2019/ 4/13	毎日新聞	【アートの地平から】分断を乗り越える思想	21	アーツ前橋全般
2019/ 4/17	上毛新聞	機械が演じる劇 やなぎみわさん、高専生と協力 アーツ前橋 展示と公演	23	やなぎみわ展
2019/ 4/19	上毛新聞	写真、劇で神話の世界 やなぎみわさん個展 きょうからアーツ前橋	25	やなぎみわ展
2019/ 4/19	読売新聞	10年ぶり やなぎみわ展 きょうから前橋 写真作品、機械による演劇	30	やなぎみわ展
2019/ 4/21	東京新聞	やなぎさん アートの軌跡「神話」「機械」テーマに現代芸術作品展	26	やなぎみわ展
2019/ 4/23	読売新聞	「やなぎみわ展 神話機械」上 50年後 理想の姿描く	28	やなぎみわ展
2019/ 4/25	読売新聞	「やなぎみわ展 神話機械」下 生と死の物語に想いはせ	-	やなぎみわ展
2019/ 4/26	朝日ぐんま	代表作や新作 10年ぶりの大規模個展 やなぎワールド炸裂	3	やなぎみわ展
2019/ 4/30	上毛新聞	神話世界 機械仕掛け 自動演劇空間を新作発表	6	やなぎみわ展
2019/ 5/ 9	朝日新聞	やなぎみわ展の世界観 群馬高専生が形に「神話機械」製作に「ロボコン」力で協力	19	やなぎみわ展
2019/ 5/11	毎日新聞	アーツ前橋 やなぎみわ展 機械が神話を自動上演 群馬高専など5校と製作	22	やなぎみわ展
2019/ 5/17	朝日ぐんま	【文化紀行】「やなぎみわ展 神話機械」アーツ前橋 学芸員 辻瑞生さん	3	やなぎみわ展
2019/ 5/22	上毛新聞	ロボットと俳優が共演 やなぎみわさん演劇	18	やなぎみわ展
2019/ 5/30	読売新聞	美術館連絡協議会特集 異分野と美術 つなぐ場に やなぎみわ展 神話機械	18	やなぎみわ展
2019/ 6/ 8	毎日新聞	【アートの地平から】誰のため？揺れる美術館	13	アーツ前橋全般
2019/ 6/10	毎日新聞	【アートの扉】やなぎみわ 神話機械 人間不在の演劇空間	夕刊3	やなぎみわ展
2019/ 6/17	茨城新聞	引き裂かれた世界の汀 やなぎみわ展 画家 諏訪敦	17	やなぎみわ展
2019/ 6/18	上毛新聞	生きていた誰かの記憶 アーツ前橋で「身体と記憶」展 7作家の20点紹介	9	身体と記憶
2019/ 6/18	高知新聞	【アート逍遙】やなぎみわ展「神話機械」引き裂かれた世界		やなぎみわ展
2019/6/18	徳島新聞	【アート逍遙】やなぎみわ展「神話機械」引き裂かれた世界の汀に	11	やなぎみわ展
2019/ 6/21	新潟日報	【アート逍遙】やなぎみわ展 神話機械 現実と虚構の世界創造	11	やなぎみわ展
2019/ 6/21	南日本新聞	【アート逍遙】やなぎみわ展 引き裂かれた生死の境目	13	やなぎみわ展
2019/ 6/25	中国新聞	【アート逍遙】「やなぎみわ展 神話機械」引き裂かれた世界の汀	12	やなぎみわ展
2019/ 6/28	信濃毎日新聞	【アート逍遙】「やなぎみわ展 神話機械」引き裂かれた世界の境目	11	やなぎみわ展
2019/ 7/19	上毛新聞	美術通じ学びを考えよう 今日から企画展 アーツ前橋と山本高之さん	22	ビヨンド20XX展
2019/ 8/10	毎日新聞	【アートの地平から】住友文彦 美術を通じた学び	11	表現の森継続事業
2019/ 8/18	毎日新聞	おもちゃが楽器に「サーキットペンディング」ワークショップ 前橋 想定外の不思議な音を体験	26	ビヨンド20XX展
2019/ 8/27	上毛新聞	美術や施設 在り方問う 山本高之さんと学芸員 アーツ前橋で企画展	6	ビヨンド20XX展
2019/ 8/27	上毛新聞	肉じゃがもアート 滞在制作キムさん 食べ比べ思い語る	18	アーティスト・イン・レジデンス
2019/ 8/31	上毛新聞	図工と道徳 在り方は 教育関係者語り合う	16	ビヨンド20XX展
2019/ 9/14	上毛新聞	美術で人つなぐ 前橋ゆかりの作家企画展	20	前橋の美術2020
2019/ 9/28	上毛新聞	ジャンル超え美術競演 絵画や染織…県内外17人 前橋	15	前橋の美術2020
2019/10/12	上毛新聞	福祉・医療・教育 芸術で問題提起 あすからアーツ前橋	21	表現の生態系展
2019/10/12	毎日新聞	【アートの地平から】住友文彦 歴史認識と向き合う	13	アーツ前橋全般
2019/10/18	上毛新聞	スマホ音声や動画 難民の記憶たどる 前橋で体験型作品公開	22	表現の生態系展
2019/10/23	毎日新聞	難民たちに思いはせて 前橋「あかつきの村」アート作品 映像や音で追体験	20	表現の生態系展
2019/10/23	毎日新聞	【オピニオン】記者の目 永田晶子(東京学芸部)「表現の不自由展」再開	8	アーツ前橋全般
2019/10/25	朝日ぐんま	アーティストの創造祭「駅家ノ木馬祭り」前橋中心街で26日	2	木馬祭り
2019/11/19	上毛新聞	楽器や身体表現 高齢者と一体感 じゃんけんぼん	20	表現の生態系展
2019/11/26	上毛新聞	触れて 語って 深まる鑑賞 美術館の視覚障害者支援「見えるものが全てではない」	8	表現の生態系展
2019/12/ 4	毎日新聞	アートで生きやすい社会に 前橋 グループ展「表現の生態系」マイノリティー支援 弁護士らトーク	21	表現の生態系展
2019/12/14	毎日新聞	【アートの地平から】地域から紡ぐ歴史観	26	アーツ前橋全般
2019/12/18	上毛新聞	「前橋の美術貢献」8人が絵画や彫刻 すいらん展	17	前橋の美術2020協力企画
2019/12/20	朝日ぐんま	「小さな声」すくい上げ問題提起 社会における芸術の役割問う作品やプロジェクト	2	表現の生態系展
2019/12/24	上毛新聞	【回顧 2019】美術 表現の在り方を模索	8	表現の生態系展
2020/ 1/ 9	読売新聞	少数者の声 アートで届け 前橋 社会問題テーマ 絵画や映像	22	表現の生態系展
2020/ 1/25	上毛新聞	「前橋の美術 2020」合わせ市内 11 画廊が企画展 3月まで「回遊しアートを」	21	前橋の美術2020協力企画
2020/ 1/28	上毛新聞	絵画や彫刻 幅広い40点 県内作家10人展	20	前橋の美術2020協力企画
2020/ 2/ 4	上毛新聞	身体芸術 可能性探る 多ジャンルの表現者「New-Tone」前橋市内で展開	7	身体の人たち
2020/ 2/ 4	上毛新聞	挽物と陶芸 丁寧な手技 飯出さん 綿貫さん	15	前橋の美術2020協力企画
2020/ 2/ 5	上毛新聞	街なかの変遷 芸術で 8日から「前橋の美術2020」	19	前橋の美術2020

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2020/ 2/ 8	上毛新聞	47人の「つながり」きょうからアーツ前橋	1	前橋の美術2020
2020/ 2/ 8	毎日新聞	【アートの地平から】山本県の農民美術運動	17	アーツ前橋全般
2020/ 2/11	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より① 井田秋雄《互解図》	8	前橋の美術2020
2020/ 2/12	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より② 今井ひさ子《マングローブのフォルムⅡ》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/13	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より③ 喜多村徹雄《竹林》と《満月》	5	前橋の美術2020
2020/ 2/13	上毛新聞	県内ゆかり15作家 多彩な技法で描く	16	前橋の美術2020協力企画
2020/ 2/14	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より④ 遠藤夏香《女の三世代／ローカルフード》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/14	朝日ぐんま	三位一体で「前橋の美術」盛り上げよう！ 市民&美術館&ギャラリーがタッグ 「つながり」テーマに47作家が発表 アーツ前橋&街なかで企画展がスタート	1	前橋の美術2020
2020/ 2/15	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑤ 滝沢達史《まちのほけんしつプロジェクト》	8	前橋の美術2020
2020/ 2/18	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑥ 後藤朋美《2回目ははじめて》	5	前橋の美術2020
2020/ 2/18	上毛新聞	社会のつながり作品化 アーツと街 表現多彩	6	前橋の美術2020
2020/ 2/19	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑦ 中島涼介《鶴橋Ⅰ》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/20	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑧ 富田文隆《化身(飛来神)》&《昂揚Ⅶ》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/21	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑨ ニャムコム天笠恵子《おそろいのネグリジェ》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/22	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑩ 長瀬正太《Baby bird garden》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/25	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑪ 藤原泰佑《前橋市街図》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/26	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑫ 酒井重良《記憶のユニットⅡ》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/27	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑬ 関口光太郎《王様(2020remix)》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/28	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2020」より⑭ 杉本篤《こちらから、そちらから。》	6	前橋の美術2020
2020/ 2/29	上毛新聞	アーツ前橋「前橋の美術 2021」より⑮ 内田望美《触れ得ぬと知りながら、願わずにはいられなかった。》	8	前橋の美術2020
2020/ 3/ 2	上毛新聞	夜の商店街光の渦	1	前橋の美術2020
2020/ 3/ 4	上毛新聞	新型肺炎関連生活情報 施設休館 アーツ前橋	16	アーツ前橋全般
2020/ 3/ 5	上毛新聞	【論説】アーツで県都を活性化 前橋の美術 2020	4	前橋の美術2020
2020/ 3/ 6	朝日ぐんま	「前橋の美術 2020-トナリのビジュツ」関連企画展 市内のギャラリーで開催中	7	前橋の美術2020
2020/ 3/13	上毛新聞	アーツ前橋サポーター 9人が力作 個性競う	19	サポーター
2020/ 3/18	上毛新聞	休館中のアーツ前橋 窓越しに美術鑑賞	20	前橋の美術2020
2020/ 3/20	朝日ぐんま	【コロナ受け「今、できることを！」】美術博物館でウィンドー越しに館内の作品公開 企画展や展示室紹介 動画配信、ぬり絵サービス ガラス越しにアート感じて アーツ前橋	1	前橋の美術2020
2020/ 3/20	朝日ぐんま	【地域線乱】体験を通して自分や社会の新たな一面発見して 「身体の人たち」代表 小出和彦	2	身体の人たち
2020/ 3/22	上毛新聞	キノコテーマに 三枝さん作品展 きょうまで前橋	17	滞在制作

雑誌・冊子

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2019/ 4/20	月刊美術 2019 5月号	展覧会情報/やなぎみわ展 神話機械	133	やなぎみわ展
2019/ 4/25	芸術新潮 2019年5月号	PICK UP EXHIBITION/やなぎみわ展 神話機械	157	やなぎみわ展
2019/ 4/25	大人の休日倶楽部	世代を超えた“人が集う”	34	アーツ前橋全般
2019/ 4/30	美術展&びあ 2019	やなぎみわ展 神話機械	76	やなぎみわ展
2019/ 5/ 6	トーキングヘッド叢書	The Recommendation/やなぎみわ展 神話機械	12-13	やなぎみわ展
2019/ 5/20	Figaro japon	日本史と女性性に肉薄してきた作家の全貌『やなぎみわ展 神話機械』	123	やなぎみわ展
2019/ 5/25	Art Collectors' No123 6月号	【今月の展覧会ガイド】やなぎみわ展 神話機械(チケブレ)	94	やなぎみわ展
2019/ 5/25	芸術新潮 2019年6月号	PICK UP EXHIBITION/やなぎみわ展 神話機械	141	やなぎみわ展
2019/ 5/28	NYLON JAPAN	kiki's ART TRIPPER/やなぎみわ展 神話機械	82	やなぎみわ展
2019/ 6/ 1	プレーン2019 vol.707 6月号	クリエイティブニュース EXHIBITIONS/やなぎみわ展 神話機械	14	やなぎみわ展
2019/ 6/ 1	美連協ニュース 2019年 5月号 No.142	【加盟館展覧会案内】やなぎみわ展 神話機械	30	やなぎみわ展
2019/ 6/14	BRUTUS 2019年7月1日号	BRUTUSCOPE 美術家・やなぎみわが実験的に表現する、“人知をこえたもの”。	102	やなぎみわ展
2019/ 8/25	地域創造レター 9月号	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	5	ビヨンド20XX展
2019/ 9/ 1	建設物価 2019年9月号 第1232号	コンバージョン・リノベーション事例(8) 閉店した百貨店が、斬新なデザインの美術館に生まれ変わった 商業施設→美術館	10-13	施設
2019/10/ 1	前橋商工会議所会報 糸都	【知りたい!まえばし NOW】デザイン都市前橋を考える② (アーツ前橋館長住友文彦氏)	14-15	アーツ前橋全般
2019/10/15	pen	表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	102	表現の生態系展
2019/11/ 1	プレーン 2019年11月号 VOL.712	【クリエイティブニュース】歴史や地域を横断しながら芸術の役割を考える	15	表現の生態系展
2019/11/ 5	地域創造レター 2019年12月号 No.296	【今月の情報】アーツ前橋 表現の生態系	7	表現の生態系展
2019/11/25	月刊アートコレクターズ 2019年11月号 VOL.128	展覧会情報	109	表現の生態系展
2019/11/25	地域創造レター 12月号	表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	7	表現の生態系展
2019/11/25	装苑	アート予報 表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	-	表現の生態系展
2020/ 1/ 1	和' S YAMATO (わずやまと) 初春号 第43号	シリーズ 群馬の美術家⑦ 前橋美術の環-自然との共鳴二〇二〇 元群馬県立近代美術館学芸員 染谷滋	14-15	前橋の美術2020
2020/ 1/ 1	いけ花 龍生 2月号	表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	25	表現の生態系展
2020/ 2/ 1	前橋商工会議所会報 糸都	アーツ前橋 展覧会 前橋の美術2020—トナリの美術— 開催	20	前橋の美術2020
2020/ 2/ 1	View Premium vol.09 群馬をひもとく5つのキーワード	【Keyword5】アート 前橋 “まちにつながる美術館”が街にアートの風を運んだ	18	アーツ前橋全般
2020/ 2/ 1	月刊ギャラリー 2020年2月号 418号	前橋の美術2020—トナリのビジュッサー	78-81	前橋の美術2020
2020/ 2/ 1	広報高崎 令和2年2月1日号	アーツ前橋の企画展「前橋の美術2020—トナリのビジュッサー」	16	前橋の美術2020
2020/ 3/19	おでかけ群馬 2020-21	【Gourmet trip 02 前橋】グルメを堪能したら 周辺立ち寄りスポット	35	アーツ前橋全般

ウェブサイト

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2019/4/10	ART iT	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/16	いきいきミュージアム	「表現の森」の活動を通じて	表現の森
2019/4/19	Web版美術手帖 Exhibitions	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	ぐんラボ	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	internet museum	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	まなびねっとぐんま	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	アーツスケープ	アートフラッシュニュースやなぎみわ展「神話機械」関連ライブパフォーマンス『MM』	やなぎみわ展
2019/4/19	katycom	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	artgene	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	michi	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	美術館連絡協議会	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	イベントまえばし igoo	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	美術展ナビ	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	This is Media	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	障がい者dB	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	赤利根	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	WEBDICE	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	Jタウンネット 群馬県	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	マチパブ	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	Mapionニュース	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/4/19	MusCa	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2019/ 4/19	TRANS-	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/ 4/28	現代メディア	壁の時代のアメリカで「境界線」という思考が深まらない謎 やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/ 5/28	madamefigaro.jp	画期的な新作も披露! 10年ぶりのやなぎみわ個展。 やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/ 6/ 1	アートスケープ	キュレーターズノート やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/ 6/ 8	ぐんま演劇商店街	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展
2019/ 6/14	美術館連絡協議会	展覧会と合わせて楽しみたい アーツ前橋	やなぎみわ展
2019/ 7/19	Web版美術手帖 Exhibitions	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	Walker+	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	東京アートビート	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	goo地図	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	47文化プログラム	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	YAHOO!JAPAN ロコ	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	まなびねつとぐんま	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	びあ	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	前橋まるごとガイド 前橋日記	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	アートコムズ	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	アンテナ	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	30min.	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	ぐんラボ	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/19	ぐんラボ	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/20	Web版美術手帖 Exhibitions	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/21	ART iT	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/22	東京アートビート	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/23	Walker+	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/24	goo地図	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/25	ART iT	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 7/25	YAHOO!JAPAN ロコ	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/26	イベントまえばし igoo	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/27	日本旅行	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 7/28	30min.	ArtMeets06 門馬美喜 やんツー	ArtMeets06
2019/ 8/ 2	いまこ群馬	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 8/26	Web版美術手帖 Exhibitions	白川昌生、高山明ら31組による「世界との関係をつくりかえる実践」。展覧会「表現の生態系」がアーツ前橋で開催	表現の生態系展
2019/ 9/ 1	artgene	山本高之とアーツ前橋のbeyond20XX 未来を考えるための教室	ビヨンド20XX展
2019/ 9/ 2	OBIKAKE	表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	表現の生態系展
2019/12/15	artscape	【キュレーターズノート】歴史とその周縁に潜在する豊かさ	表現の生態系展
2020/ 1/23	Web版美術手帖 review	中心一周縁のヒエラルキーを超え、両者を結ぶルートを見出す。檜山真有評「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」展	表現の生態系展
2020/ 2/11	Web版美術手帖 Exhibitions	「前橋の美術 2020—トナリのビジュツ—」	前橋の美術2020
2020/ 2/ 8	artgene	「前橋の美術 2020—トナリのビジュツ—」	前橋の美術2020
2020/ 2/ 8	ぐんラボ	「前橋の美術 2020—トナリのビジュツ—」	前橋の美術2020
2020/ 2/ 8	東京アートビート	「前橋の美術 2020—トナリのビジュツ—」	前橋の美術2020
2020/ 2/16	ネットTAM	【観覧無料!】前橋の美術 2020—トナリのビジュツ—	前橋の美術2020
2020/ 2/16	WEBDICE	前橋の美術2020—トナリのビジュツ—	前橋の美術2020
2020/ 3/ 6	アートスケープ	展覧会休止「前橋の美術2020—トナリのビジュツ—」 関連事業の中止・延期・縮小開催	前橋の美術2020

テレビ・ラジオ

掲載日	放送局	番組名	記事名	区分	関連事業名
2019/ 4/24	FM群馬	POTLUCK	やなぎみわ展 神話機械	ラジオ	やなぎみわ展
2019/ 5/ 9	群馬テレビ	ニュースJUST6	やなぎみわ展 神話機械	テレビ	やなぎみわ展
2019/ 5/ 9	群馬テレビ	ニュースeye8	やなぎみわ展 神話機械	テレビ	やなぎみわ展
2019/ 5/17	NHK	ほっとぐんま640	やなぎみわ展 神話機械	テレビ	やなぎみわ展
2019/ 6/ 9	NHK	日曜美術館 アートシーン	やなぎみわ展 神話機械	テレビ	やなぎみわ展
2019/ 6/14	FM群馬	かかあデンバ!	第1回あいつひろば〜チルドレンズ・プライド、前橋	ラジオ	あいつひろば
2019/ 7/19	FM群馬	ラジオインフォメーションいきいきまえばし	展覧会情報	ラジオ	ビヨンド20XX展
2019/10/ 4	NHK	おはよう日本	続前橋聖務日課あかつきの村ウォーク	テレビ	表現の生態系展
2019/10/11	FM群馬	ラジオインフォメーションいきいきまえばし	展覧会情報	ラジオ	表現の生態系展
2020/ 2/21	まえばしCITYエフエム	Clip	展覧会情報	ラジオ	前橋の美術2020

アーツ前橋年報 No.7

2020年12月発行

発行者 アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

TEL 027-230-1144

MAIL artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

URL <http://artsmaebashi.jp>

フォトクレジット

◎GOTO Tomomi p.38上

◎KIGURE Shinya p.6、8、10、12、15、18、21、23右、24右、25左、32、33上、36、37上、39、51

◎MASUDA Takashi p.22

◎OKAYASU Kenichi p.25右

◎SAKANAKA Takafumi p.33下、35

◎トンデ空静 p.52下